

## Ⅱ 感染症発生状況

- 1 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、動物の感染症  
発生状況－保健所・年齢群別－
- 2 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、動物の感染症  
発生状況－病型・感染経路等－
- 3 五類感染症(定点)発生状況
  - ◆週報
    - 急性呼吸器感染症、インフルエンザ／COVID-19
    - 小児科
    - 眼科
    - 基幹
  - ◆月報
    - 性感染症
    - 基幹
- 4 疑似症サーベイランス
- 5 病原体検査情報

# 1 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、動物の感染症 発生状況 ー保健所・年齢群別ー

■令和7年累計 令和7年第1週～第52週(令和6年12月30日～令和7年12月28日)

令和8年(2026年)1月末集計

令和8年(2026年)3月6日修正

◆一類～四類感染症、五類感染症(全数)保健所別

(報告数:例)

類型	感 染 症 名	総 数	前 橋 市	高 崎 市	伊 勢 崎	洪 川	藤 岡	富 岡	吾 妻	利 根 沼 田	館 林	桐 生	太 田	安 中
二類	結核	203	37	40	20	27	11	5	3	12	22	6	15	5
三類	細菌性赤痢	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	150	15	20	19	12	2	1	4	30	20	11	11	5
四類	E型肝炎	17	4	2	3	0	0	5	1	0	0	1	1	0
	A型肝炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	エキノкокクス症	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	10	2	0	0	0	1	0	3	4	0	0	0	0
	デング熱	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	56	13	10	10	2	3	2	1	1	4	2	7	1
五類	アメーバ赤痢	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス性肝炎	8	2	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	10	5	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0
	急性脳炎	8	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22	12	3	2	0	1	0	1	2	0	0	1	0
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	14	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	36	8	5	5	1	1	4	0	5	1	4	1	1
	水痘(入院例)	7	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	梅毒	162	39	40	29	2	3	3	1	1	11	10	21	2
	播種性クリプトкокクス症	6	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	破傷風	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
百日咳	3,052	795	783	301	207	131	27	64	236	16	180	230	82	
麻疹	5	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	
計		3,790	952	911	401	256	154	52	79	291	77	214	292	97

★表以外の感染症については報告されていません。

※後天性免疫不全症候群については、届出保健所を記載していません。

◆一類～四類感染症、五類感染症(全数)年齢群別

(報告数:例)

類型	感 染 症 名	総 数	1 歳 未 満	1 歳 4 月	5 歳 9 月	10 歳 14 月	15 歳 19 月	20 歳 24 月	25 歳 29 月	30 歳 34 月	35 歳 39 月	40 歳 44 月	45 歳 49 月	50 歳 54 月	55 歳 59 月	60 歳 64 月	65 歳 69 月	70 歳 以 上
二類	結核	203	3	0	1	0	5	20	24	20	11	8	7	6	8	2	6	82
三類	細菌性赤痢	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	150	0	18	2	4	7	20	14	4	10	11	10	10	14	9	7	10
四類	E型肝炎	17	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	1	3	0	7
	A型肝炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	エキノкокクス症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	7
	デング熱	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	56	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	5	3	8	35
五類	アメーバ赤痢	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
	ウイルス性肝炎	8	0	0	0	0	2	2	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	8
	急性脳炎	8	0	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	3	2	1	9
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	14	0	0	0	0	0	2	1	5	1	2	0	1	0	1	1	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	36	1	3	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	1	2	5	19
	水痘(入院例)	7	0	0	2	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1
	梅毒	162	0	0	0	0	6	27	22	21	8	13	16	17	17	7	1	7
	播種性クリプトкокクス症	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	破傷風	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
百日咳	3,052	37	47	802	1,224	341	43	40	58	63	97	92	77	29	29	23	50	
麻しん	5	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
計		3,790	42	71	808	1,230	363	118	109	110	100	136	130	121	83	59	56	254

★年齢については診断日の年齢になります。

◆動物の感染症(獣医師による届出)

感 染 症 名	総 数	前 橋 市	高 崎 市	伊 勢 崎	洪 川	藤 岡	富 岡	吾 妻	利 根 沼 田	館 林	桐 生	太 田	安 中
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	1		1										

## 2 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、動物の感染症 発生状況 一病型・感染経路等一

### (1) 一類感染症

・届出はありませんでした。

### (2) 二類感染症

#### ・結核 203例

【保健所別累計】

(報告数:例)

感染症名(病型)	合計	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中
結核	203	37	40	20	27	11	5	3	12	22	6	15	5
肺結核	81	15	12	15	12	4	4	1	1	11	1	3	2
肺結核及びその他の結核	19	4	3	0	4	1	0	1	1	1	0	4	0
その他の結核	23	6	3	2	3	2	0	0	0	1	2	4	0
潜在性結核感染症	80	12	22	3	8	4	1	1	10	9	3	4	3

【年齢群別累計】

(報告数:例)

感染症名(病型)	合計	0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
結核	203	3	1	0	5	44	31	15	14	8	33	26	23
肺結核	81	0	0	0	1	20	8	5	2	1	13	16	15
肺結核及びその他の結核	19	0	0	0	0	9	2	0	1	1	1	1	4
その他の結核	23	0	0	0	0	2	10	2	3	0	2	3	1
潜在性結核感染症	80	3	1	0	4	13	11	8	8	6	17	6	3

※病型の無症状病原体保有者を潜在性結核感染症と読み替えています。

- ・推定される感染地域は、国内72例、国外57例、国内または国外21例、不明53例でした。
- ・国外の地域は、インドネシア27例、フィリピン13例、ミャンマー11例、ネパール9例、ベトナム6例、中華人民共和国4例、インド2例、ギニア1例、カンボジア1例、モンゴル1例、ブラジル1例、バングラデシュ1例、フィリピンまたはサウジアラビア1例でした。

### (3) 三類感染症

#### ・細菌性赤痢 2例

・推定される感染地域は、ミャンマー1例、モロッコ1例でした。

#### ・腸管出血性大腸菌感染症 150例

【O型別累計】

(報告数:例)

O血清型	合計	VT1	VT2	VT1VT2	O血清型	合計	VT1	VT2	VT1VT2
O103	33	33			O181	1			1
O157	26		15	11	O142	1		1	
O26	13	11	1	1	O22	1	1		
O76	8	7		1	O159	1		1	
O166	8		8		O63	1		1	
O91	7	7			O71	1	1		
O185	7		7		O5	1			1
O3	5	5			O177	1		1	
O156	3	3			O109	1	1		
O174	3		3		O139	1		1	
O115	2	2			O183	1	1		
O128	2			2	O168	1		1	
O20	2		2		O148	1			1
O55	1	1			O18	1	1		
O98	1			1	O152	1			1
O111	1	1			O100	1		1	
O113	1		1		その他	8	2	5	1
O179	1		1		不明	2		2	

・類型は、患者52例、無症状病原体保有者98例でした。

・溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例の報告はありませんでした。

・年間を通して届出があり、7月(49例)が最も多く、次いで6月(20例)でした。

#### (4) 四類感染症

##### ・ E型肝炎 17例

・推定される感染原因(経路)は、経口感染7例、不明10例でした。

##### ・ A型肝炎 1例

・推定される感染原因(経路)は、経口感染でした。

##### ・ エキノкокクス症 1例

・推定される感染地域は、国内(都道府県不明)でした。

##### ・ チクングニア熱 1例

・推定される感染原因(経路)は、インドネシアでした。

##### ・ つつが虫病 10例

・推定される感染地域は、すべて県内でした。

・県内の地域は、前橋市1例、高崎市1例、吾妻郡4例、沼田市1例、利根郡2例、不明1例でした。

##### ・ デング熱 1例

・推定される感染地域は、フィリピンでした。

##### ・ ライム病 1例

・推定される感染地域は、スイスでした。

##### ・ レジオネラ症 56例

・病型は、肺炎型52例、ポンティアック熱型4例でした。

・推定される感染原因(経路)は、水系感染16例、塵埃感染3例、不明37例でした。

## (5) 五類感染症(全数)

### ・アメーバ赤痢 3例

- ・病型は、すべて腸管アメーバ症でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、性的接触1例(異性間同性間不明)、不明2例でした。

### ・ウイルス性肝炎 8例

- ・原因ウイルスは、B型肝炎ウイルス3例、EBウイルス4例、EBウイルス及びサイトメガロウイルス1例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、性的接触4例(異性間3例、異性間同性間不明1例)、不明4例でした。

### ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 10例

- ・検出された菌種は、*Klebsiella aerogenes* 4例、*Klebsiella pneumoniae* 3例、*Serratia marcescens* 2例、*Citrobacter freundii* 1例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、以前からの保菌3例、院内感染1例、手術部位感染1例、以前からの保菌、医療器具関連感染またはその他1例、不明2例、その他2例でした。

### ・急性脳炎 8例

- ・推定される病原体は、インフルエンザウイルス1例、水痘・帯状疱疹ウイルス1例、単純ヘルペスウイルス1例、不明5例でした。

### ・クロイツフェルト・ヤコブ病 5例

- ・病型は、孤発性プリオン病(古典型クロイツフェルト・ヤコブ病)でした。

### ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症 22例

- ・検出された菌の血清群は、A群11例、B群7例、G群4例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、創傷感染10例、飛沫・飛沫核感染1例、経口感染1例、不明6例、その他4例でした。

### ・後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) 14例

- ・類型は、患者7例(AIDS5例、その他2例)、無症状病原体保有者7例でした。
- ・性別は、男性12例、女性2例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、性的接触11例(同性間6例、異性間5例)、不明3例でした。

### ・侵襲性インフルエンザ菌感染症 5例

- ・病原体が検出された検体の種類は、すべて血液でした。
- ・ヒブワクチンの接種歴は、なし2例、不明3例でした。

### ・侵襲性髄膜炎菌感染症 1例

- ・病原体が検出された検体の種類は、血液でした。
- ・検出された菌の血清群は、Y群でした。
- ・髄膜炎菌ワクチンの接種歴は、ありませんでした。

### ・侵襲性肺炎球菌感染症 36例

- ・病原体が検出された検体の種類は、血液34例、血液及び喀痰1例、血液、髄液及び尿1例でした。
- ・肺炎球菌ワクチンの接種歴は、あり5例、なし12例、不明19例でした。

#### ・ 水痘(入院例) 7例

- ・すべて臨床診断例でした。
- ・水痘ワクチンの接種歴は、あり1例、なし1例、不明5例でした。

#### ・ 梅毒 162例

- ・類型は、患者120例、無症状病原体保有者42例でした。
- ・患者の病型は、早期顕症梅毒Ⅰ期76例、早期顕症梅毒Ⅱ期40例、晩期顕症梅毒4例でした。
- ・性別は、男性105例、女性57例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、性的接触140例(異性間120例、同性間9例、不明11例)、不明22例でした。

#### ・ 播種性クリプトコックス症 6例

- ・推定される感染原因(経路)は、免疫不全4例、不明1例、その他1例でした。

#### ・ 破傷風 2例

- ・診断方法は、全て臨床決定でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、創傷感染1例、針等の鋭利なものの刺入による感染1例でした。

#### ・ バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例

- ・届出のあった菌種は、*Enterococcus faecium*でした。

#### ・ 百日咳 3,052例

- ・推定される感染地域は、県内2,271例、県外30例、県内又は県外17例、都道府県不明99例、不明635例でした。
- ・百日咳含有ワクチンの接種歴は、あり1,709例、なし62例、不明1,281例でした。
- ・詳細は51ページ参照。

#### ・ 麻しん 5例

- ・病型は、麻しんが3例、修飾麻しんが2例でした。
- ・診断方法は、全て検査診断例でした。
- ・推定される感染地域は、インドネシア1例、ベトナム3例、県内1例でした。
- ・麻しん含有ワクチンの接種歴は、あり2例、なし1例、不明2例でした。

### (6)動物の感染症(獣医師による届出)

#### ・ 鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9) 1例

- ・亜型はH5N1でした。

### 3 五類感染症(定点)発生状況

◆週報 急性呼吸器感染症、インフルエンザ/COVID-19

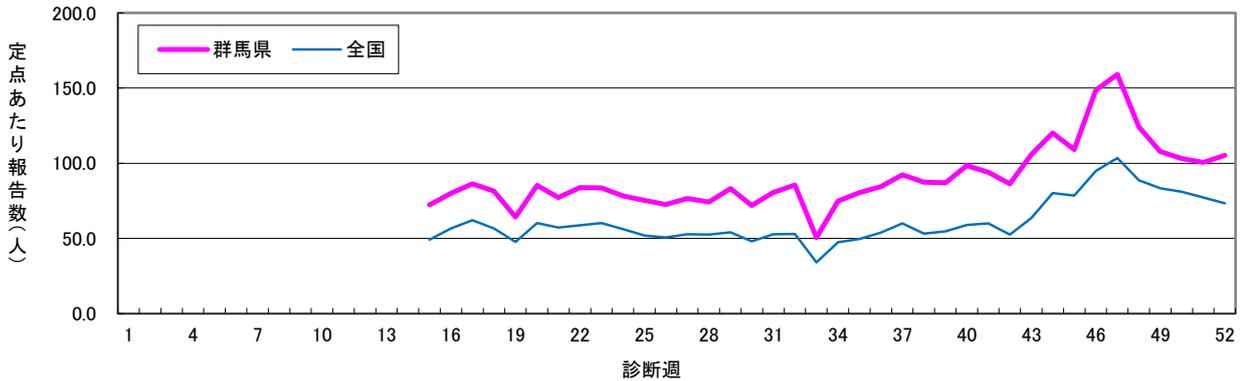
#### (1)急性呼吸器感染症

2025年第15週から報告が開始されました。定点からの年間報告数(第15～52週の累計)は153,536人(定点あたり3444.14人)でした。年間の発生状況は全国平均より高い値で推移しました。

年齢群別では、1-4歳(37.4%)が最多で、次いで5-9歳(26.2%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、東毛地域(4035.99人)が最多でした。

週別患者発生状況



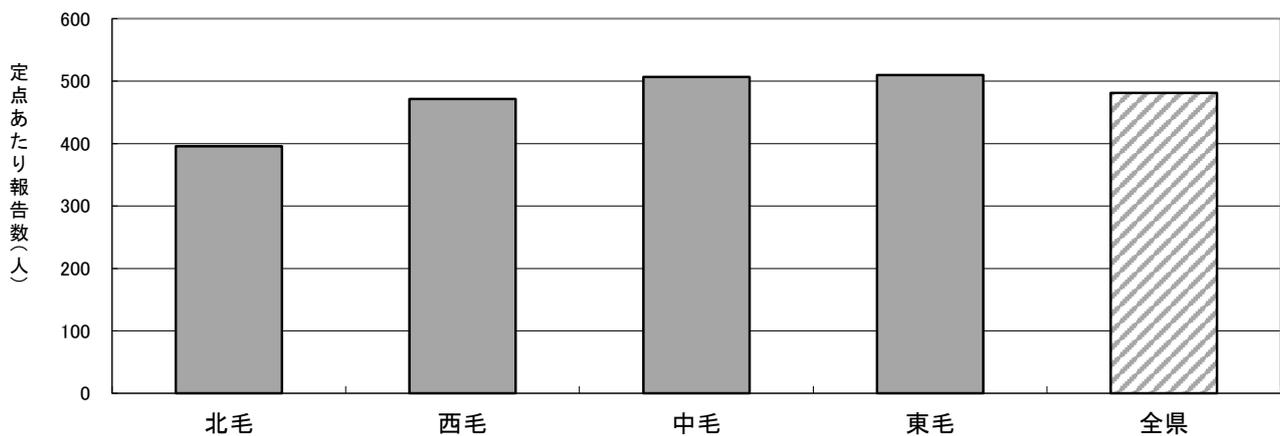
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳
報告数	8,707	57,406	40,204	18,609	4,839	3,818	5,247	4,560	3,778	2,872	2,267
%	5.7	37.4	26.2	12.1	3.2	2.5	3.4	3.0	2.5	1.9	1.5

年齢群	80歳以上	合計
報告数	1,229	153,536
%	0.8	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	9,400	50,896	45,233	48,007	153,536
定点あたり	1,566.67	3,417.05	3,836.73	4,035.99	3,444.14

## (2) インフルエンザ

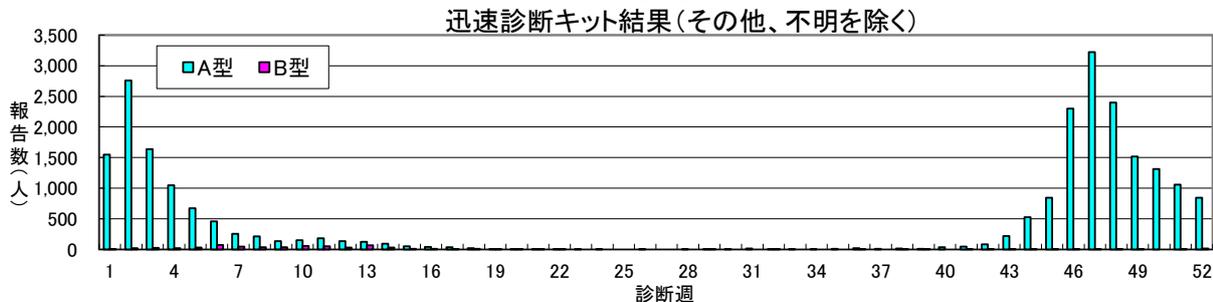
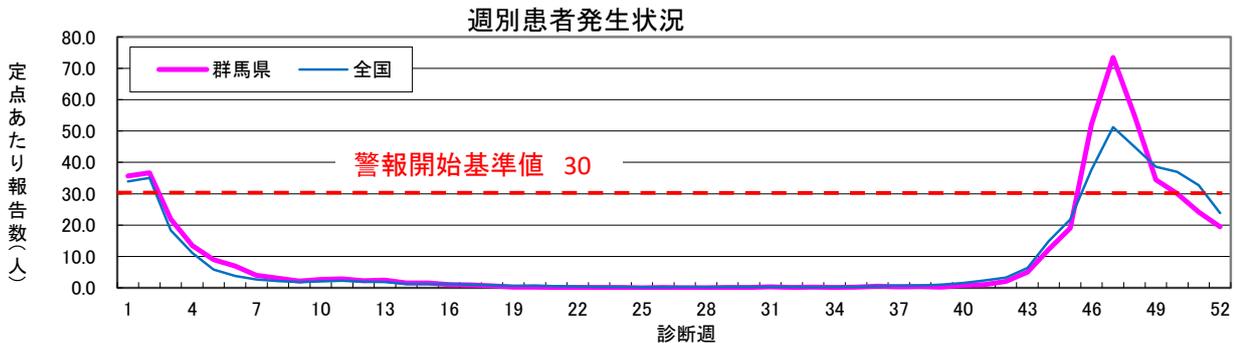
定点からの年間報告数は26,378人(定点あたり481.11人)でした。[前年30,702人(定点あたり363.59人)]

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移し、第46週(11月中旬)に警報開始基準値を超え、第47週に報告数のピークとなりました。

年齢群別では、10-14歳(18.1%)が最多で、次いで15-19歳(6.7%)、30-39歳(6.2%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、東毛地域(509.59人)が最多でした。

定点からの迅速診断キット結果報告を集計したところ、A型が24,118人、B型が641人、その他・不明が1,619人でした。



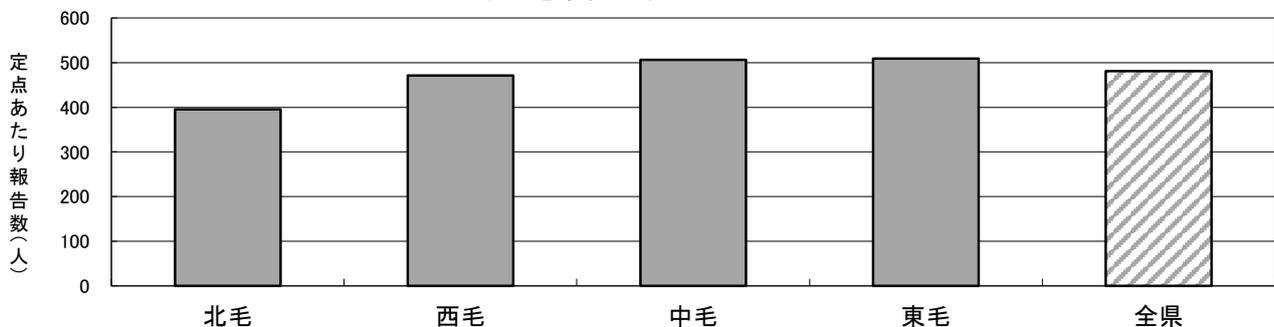
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	103	283	916	1,057	1,229	1,433	1,619	1,527	1,524	1,485	1,245
%	0.4	1.1	3.5	4.0	4.7	5.4	6.1	5.8	5.8	5.6	4.7

年齢群	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
報告数	4,767	1,764	1,428	1,633	1,615	1,337	775	421	217	26,378
%	18.1	6.7	5.4	6.2	6.1	5.1	2.9	1.6	0.8	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	3,006	7,992	7,354	8,026	26,378
定点あたり	395.73	471.18	506.50	509.59	481.11

### (3) 新型コロナウイルス感染症

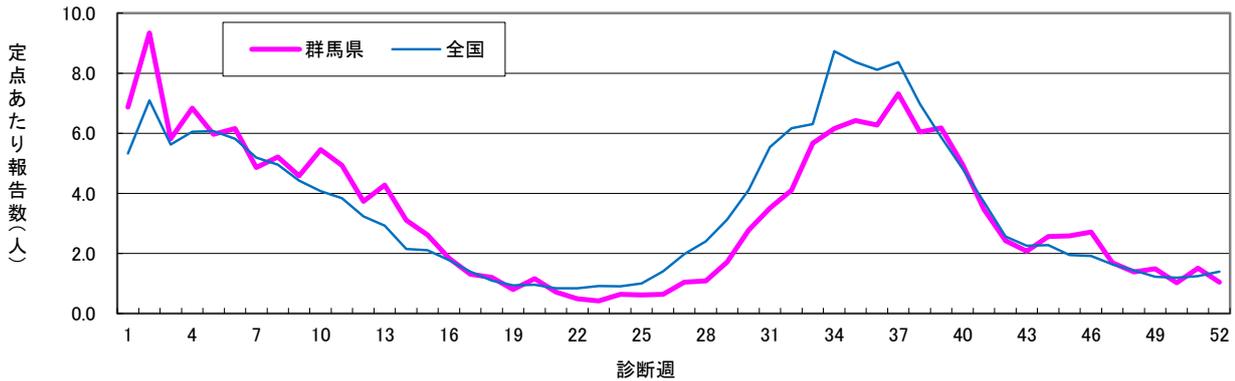
定点からの年間報告数は10,732人(定点あたり195.74人)でした。[前年28,587人(定点あたり338.54人)]

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しました。

年齢群別では、50-59歳(13.1%)が最多で、次いで40-49歳(12.8%)、30-39歳(10.7%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、北毛地域(243.81人)が最多でした。

週別患者発生状況



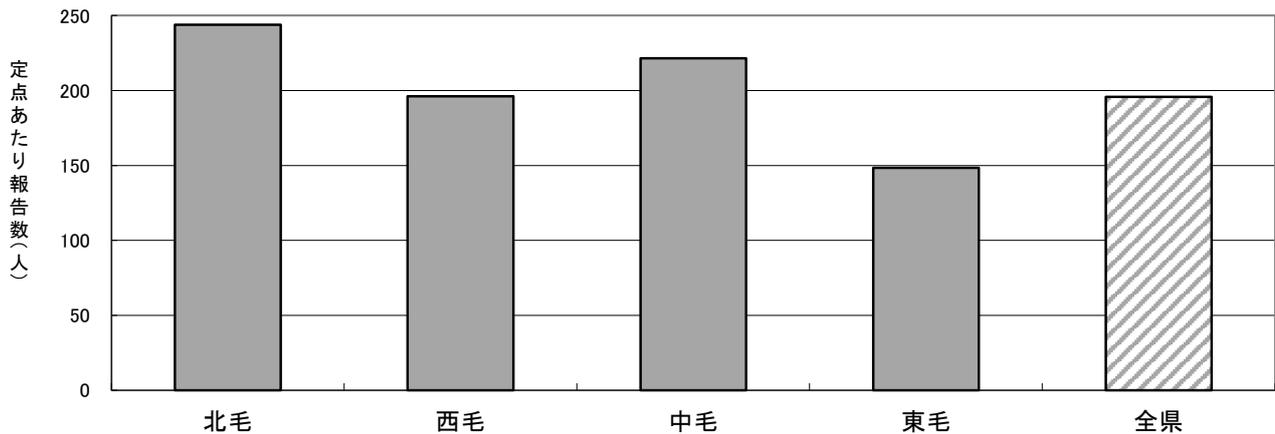
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	118	146	273	135	141	111	153	169	156	160	167
%	1.1	1.4	2.5	1.3	1.3	1.0	1.4	1.6	1.5	1.5	1.6

年齢群	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
報告数	1,001	722	1,030	1,153	1,378	1,410	958	766	585	10,732
%	9.3	6.7	9.6	10.7	12.8	13.1	8.9	7.1	5.5	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	1,852	3,326	3,215	2,339	10,732
定点あたり	243.81	196.09	221.43	148.51	195.74

◆週報 小児科

(1)RSウイルス感染症

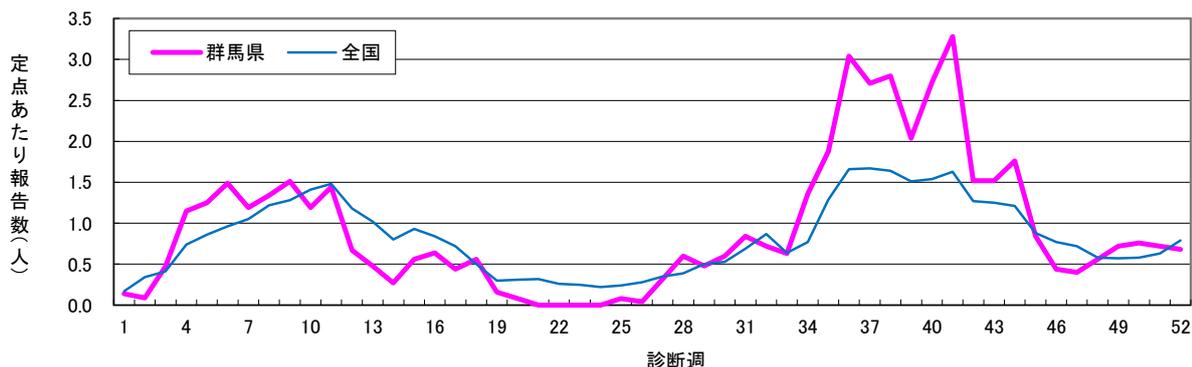
定点からの年間報告数は1,572人(定点あたり49.18人)でした。[前年1,332人(定点あたり25.28人)]

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しましたが、流行期は全国よりもやや高い値で推移しました。

年齢群別では、1歳(37.1%)が最多で、次いで2歳(22.4%)、0～5ヶ月(11.0%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(71.66人)が最多でした。

週別患者発生状況



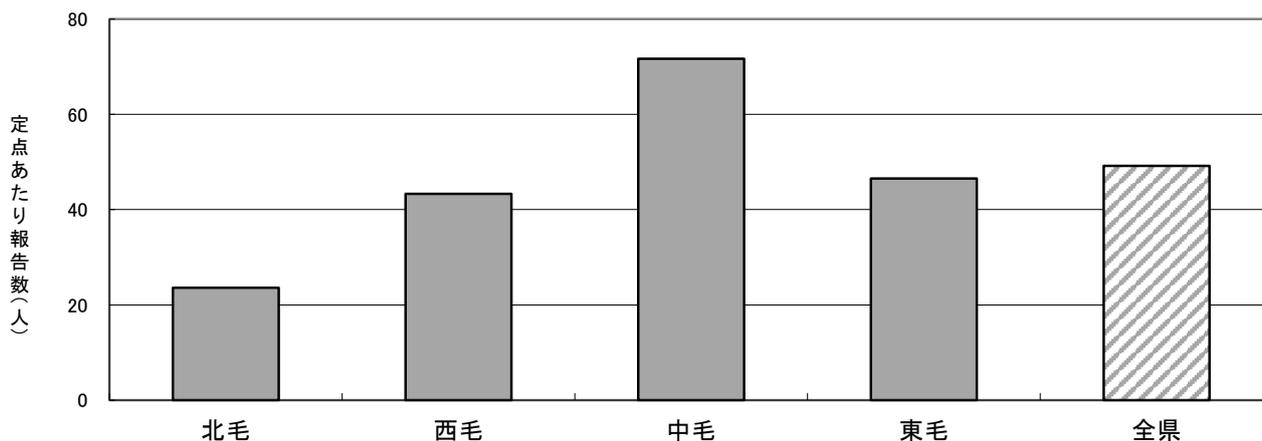
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	173	172	583	352	160	64	31	15	3	6	1
%	11.0	10.9	37.1	22.4	10.2	4.1	2.0	1.0	0.2	0.4	0.1

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	9	2	1	1,572
%	0.6	0.1	0.1	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	102	422	616	432	1,572
定点あたり	23.57	43.28	71.66	46.51	49.18

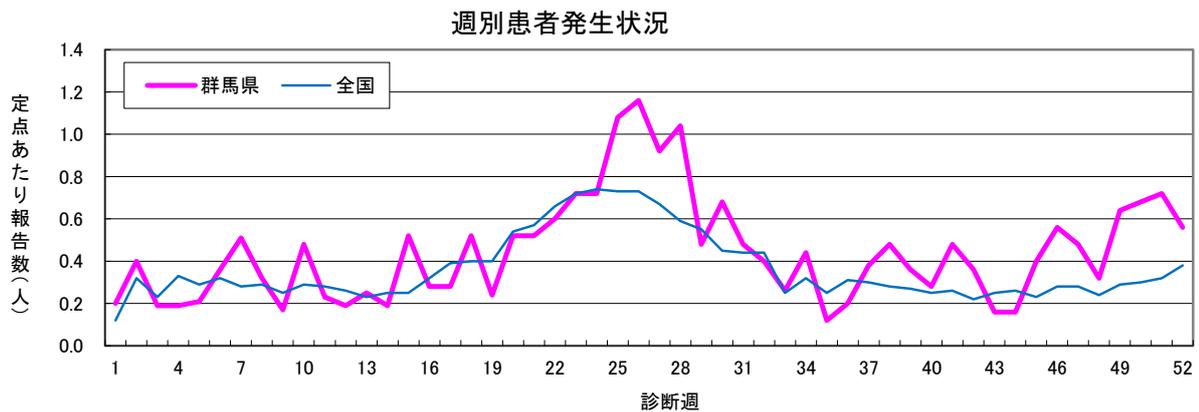
## (2) 咽頭結膜熱

定点からの年間報告数は679人(定点あたり21.24人)でした。[前年2,023人(定点あたり38.39人)]

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しました。

年齢群別では、1歳(38.7%)が最多で、次いで2歳(15.5%)、3歳(11.6%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(26.29人)が最多でした。



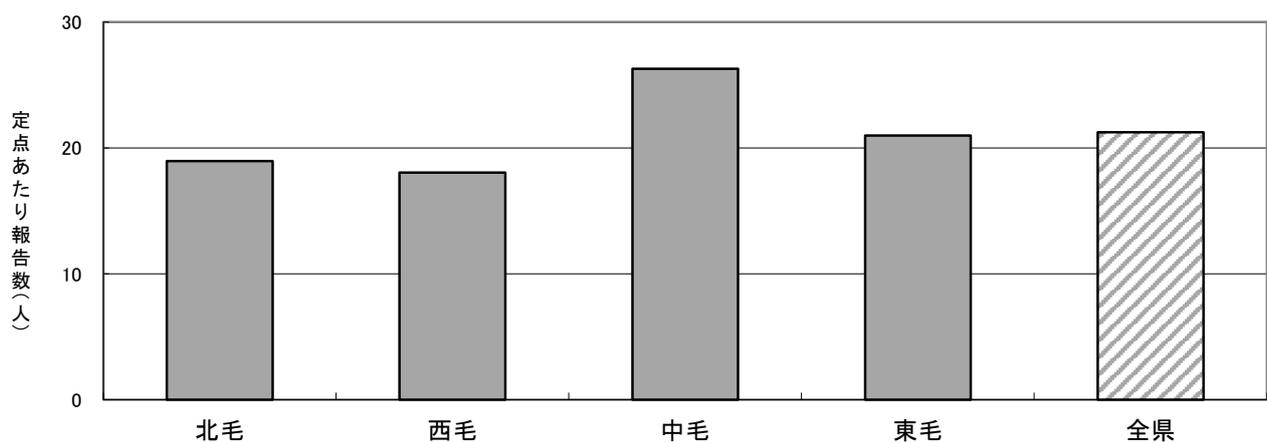
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	7	30	263	105	79	51	53	23	22	16	11
%	1.0	4.4	38.7	15.5	11.6	7.5	7.8	3.4	3.2	2.4	1.6

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	16	-	3	679
%	2.4	-	0.4	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	82	176	226	195	679
定点あたり	18.95	18.05	26.29	20.99	21.24

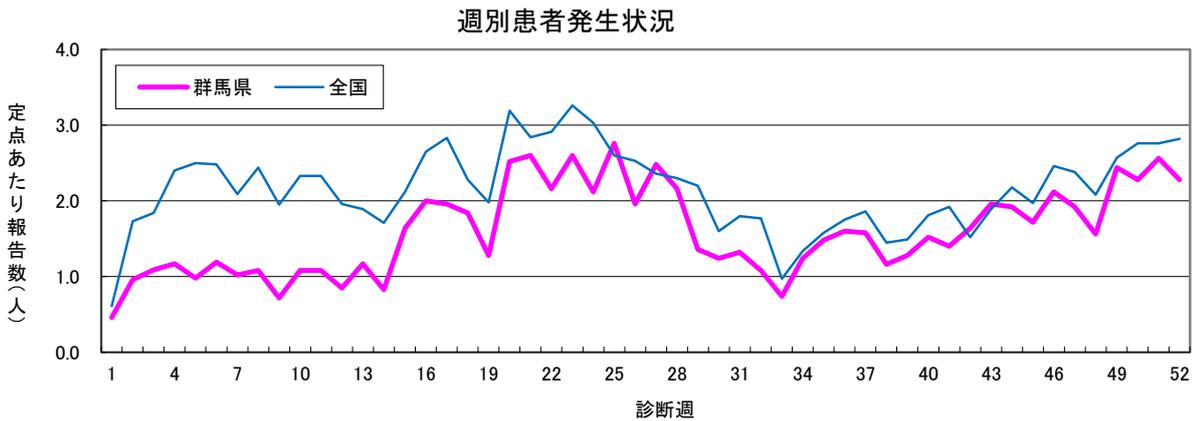
### (3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点からの年間報告数は2,442人(定点あたり76.40人)でした。[前年7,089人(定点あたり134.54人)]

年間の発生状況は全国平均より低い値で推移しました。

年齢群別では、5歳(15.0%)が最多で、次いで10-14歳(14.4%)、4歳(13.1%)でした。

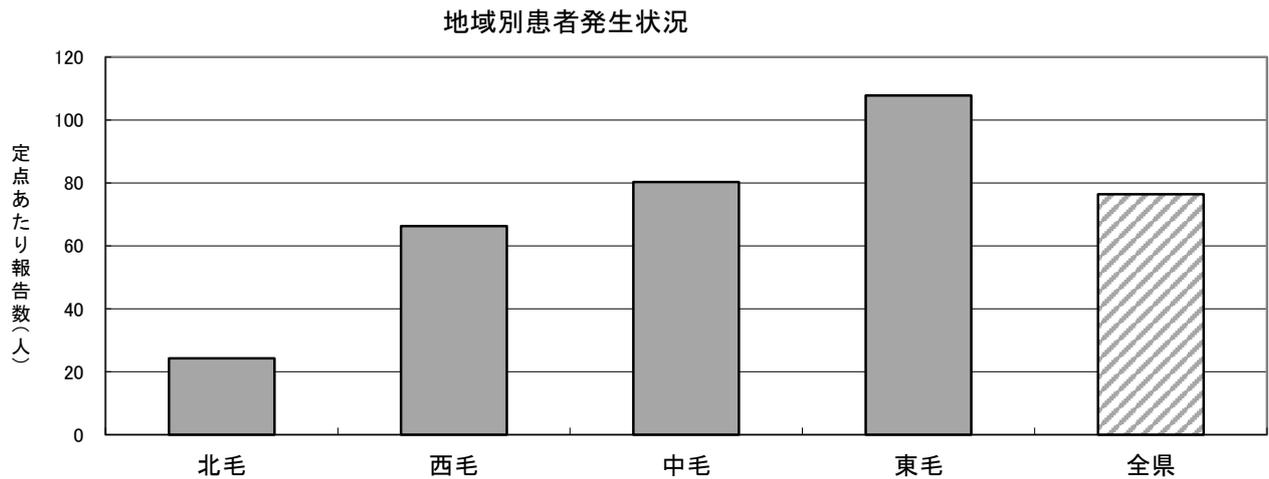
地域別の定点あたり報告数は、東毛地域(107.77人)が最多でした。



年齢群別患者発生状況 (報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	1	4	45	83	209	319	367	308	293	229	187
%	0.0	0.2	1.8	3.4	8.6	13.1	15.0	12.6	12.0	9.4	7.7

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	351	9	37	2,442
%	14.4	0.4	1.5	100.0



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	105	646	690	1,001	2,442
定点あたり	24.27	66.26	80.27	107.77	76.40

#### (4) 感染性胃腸炎

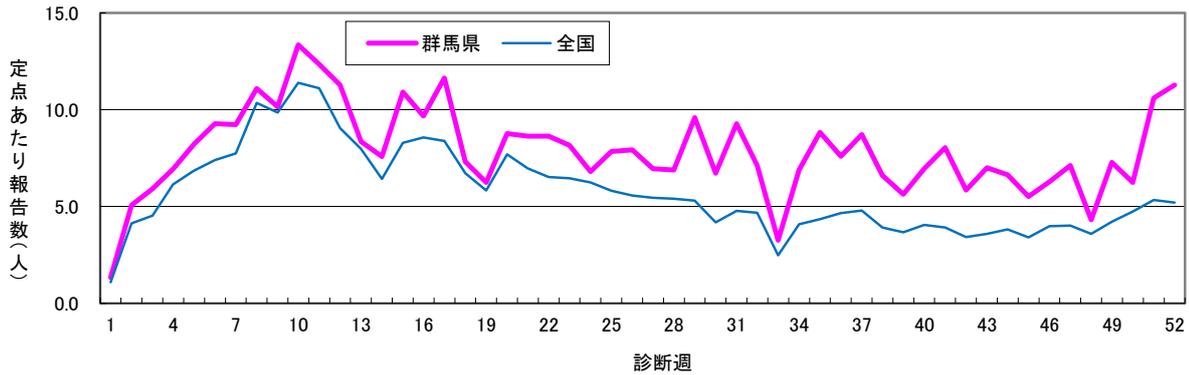
定点からの年間報告数は13,506人(定点あたり422.57人)でした。[前年12,301人(定点あたり233.45人)]

年間の発生状況は全国平均よりやや高い値で推移しました。

年齢群別では、1歳(14.6%)が最多で、次いで2歳(11.5%)、10-14歳(10.2%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、東毛地域(486.52人)が最多でした。

週別患者発生状況



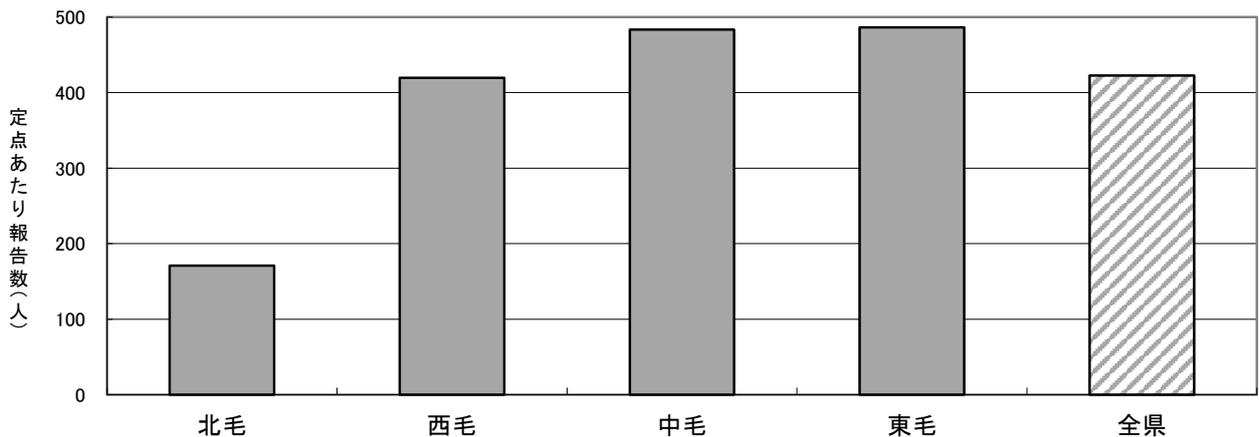
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	150	691	1,975	1,557	1,328	1,303	1,240	1,044	788	737	565
%	1.1	5.1	14.6	11.5	9.8	9.6	9.2	7.7	5.8	5.5	4.2

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	1,381	171	576	13,506
%	10.2	1.3	4.3	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	739	4,092	4,156	4,519	13,506
定点あたり	170.79	419.69	483.47	486.52	422.57

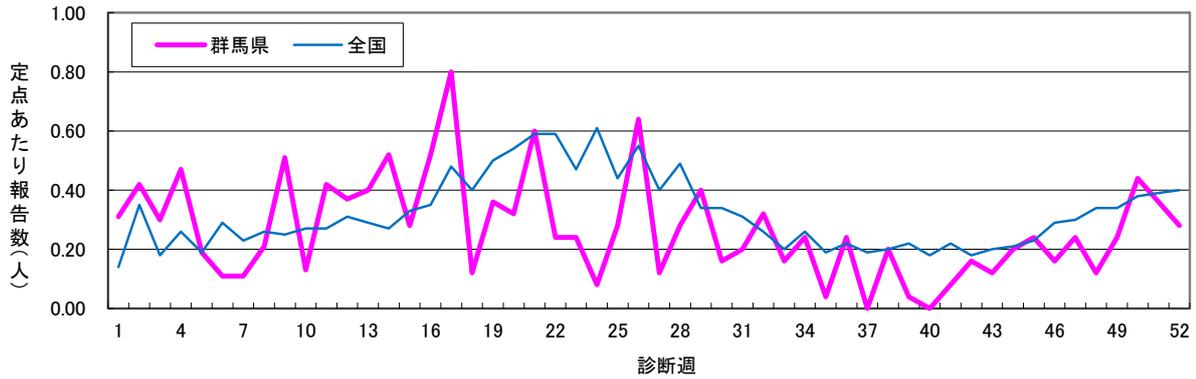
## (5) 水痘

定点からの年間報告数は467人(定点あたり14.61人)でした。[前年434人(定点あたり8.24人)]

年齢群別では、10-14歳(26.1%)が最多で、次いで8歳(12.4%)、7歳(11.3%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(19.43人)が最多でした。

週別患者発生状況



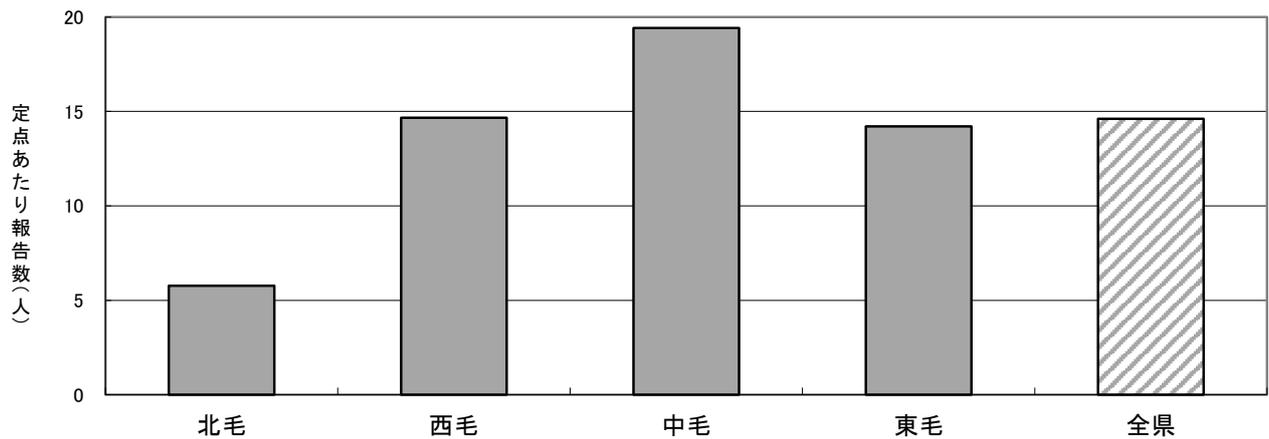
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	3	5	14	18	28	34	37	33	53	58	51
%	0.6	1.1	3.0	3.9	6.0	7.3	7.9	7.1	11.3	12.4	10.9

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	122	7	4	467
%	26.1	1.5	0.9	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	25	143	167	132	467
定点あたり	5.78	14.67	19.43	14.21	14.61

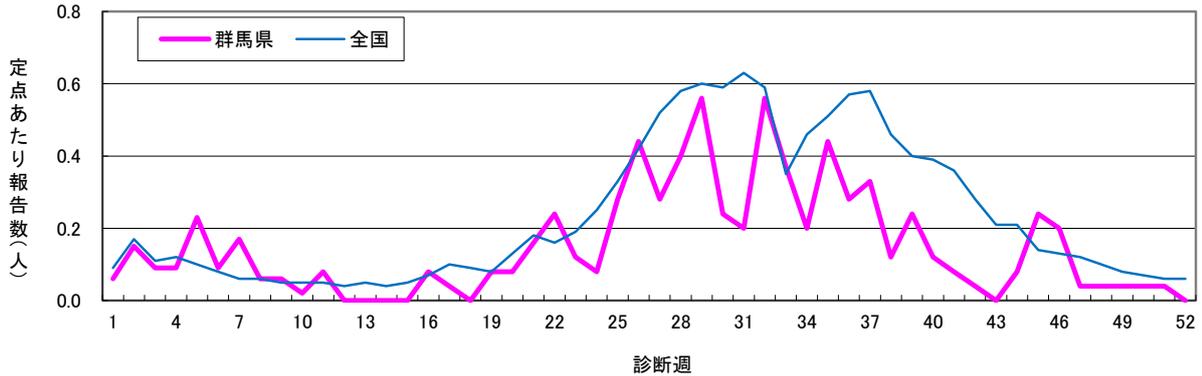
## (6)手足口病

定点からの年間報告数は224人(定点あたり7.01人)でした。[前年11,695人(定点あたり221.95人)]

年齢群別では、1歳(34.8%)が最多で、次いで2歳(14.7%)、6～11ヶ月(12.5%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、西毛地域(9.44人)が最多でした。

週別患者発生状況



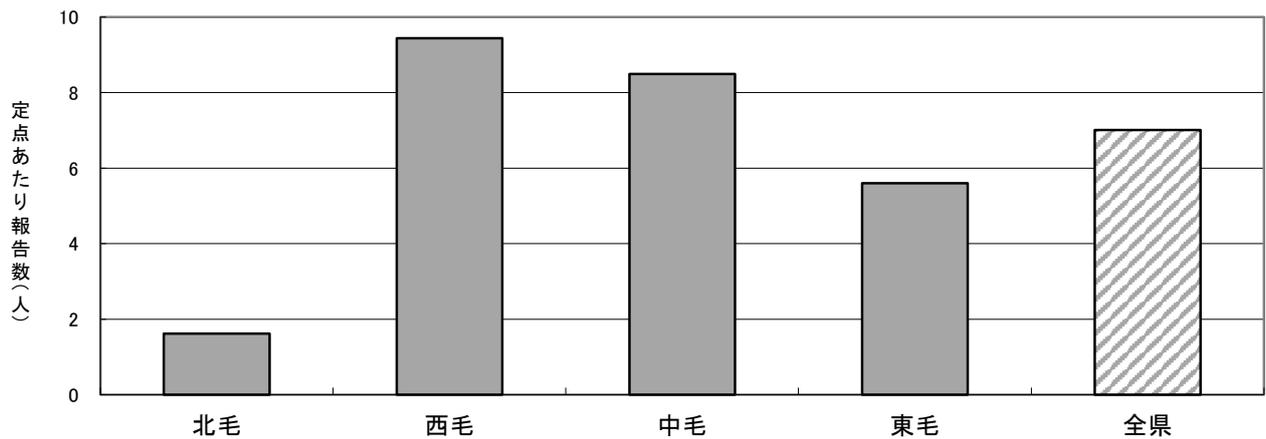
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	9	28	78	33	13	22	16	10	3	6	4
%	4.0	12.5	34.8	14.7	5.8	9.8	7.1	4.5	1.3	2.7	1.8

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	2	-	-	224
%	0.9	-	-	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	7	92	73	52	224
定点あたり	1.62	9.44	8.49	5.60	7.01

## (7) 伝染性紅斑

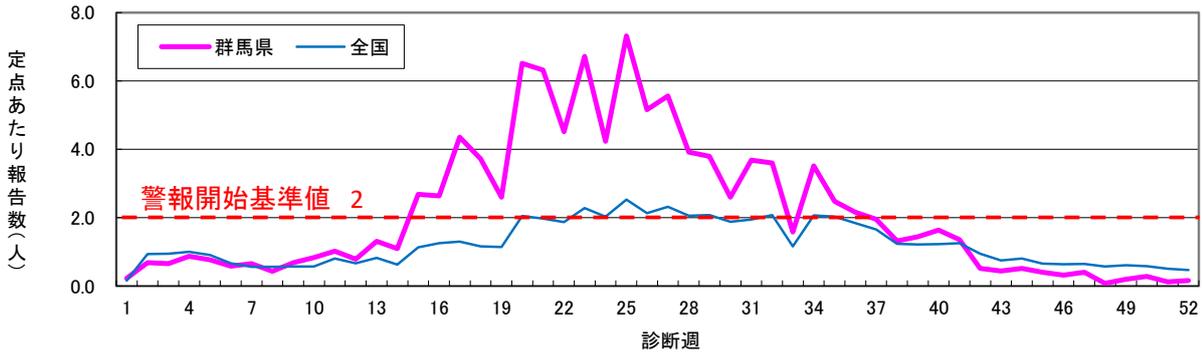
定点からの年間報告数は3,063人(定点あたり95.83人)でした。[前年274人(定点あたり5.20人)]

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しましたが、流行期は全国よりも高い値で推移し、第15週(4月上旬)に警報開始基準値を超え、第25週(6月中旬)に報告数のピークとなりました。

年齢群別では、5歳(17.1%)が最多で、次いで4歳(14.0%)、6歳(13.5%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、西毛地域(112.31人)が最多でした。

週別患者発生状況



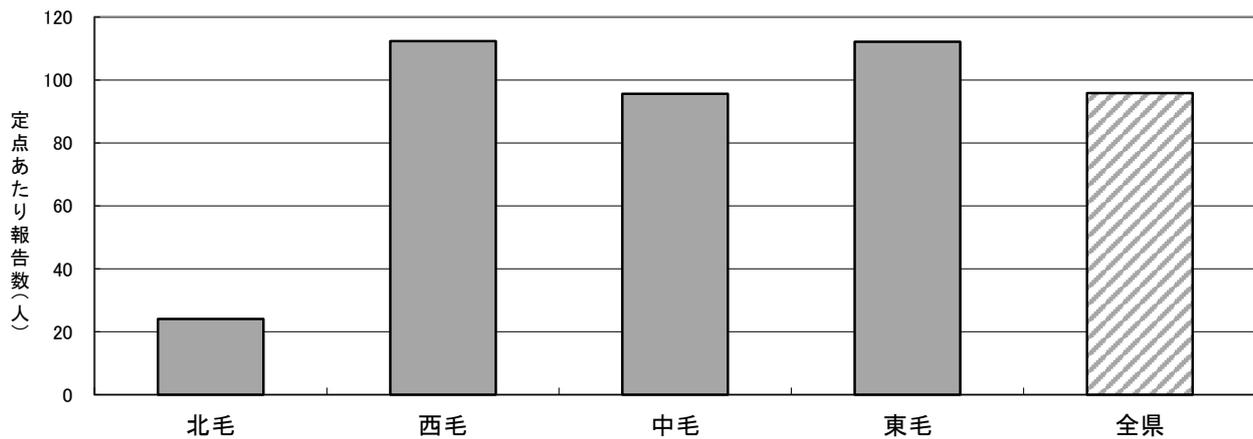
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	2	22	119	218	337	430	525	413	333	276	198
%	0.1	0.7	3.9	7.1	11.0	14.0	17.1	13.5	10.9	9.0	6.5

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	180	2	8	3,063
%	5.9	0.1	0.3	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	104	1,095	822	1,042	3,063
定点あたり	24.04	112.31	95.62	112.18	95.83

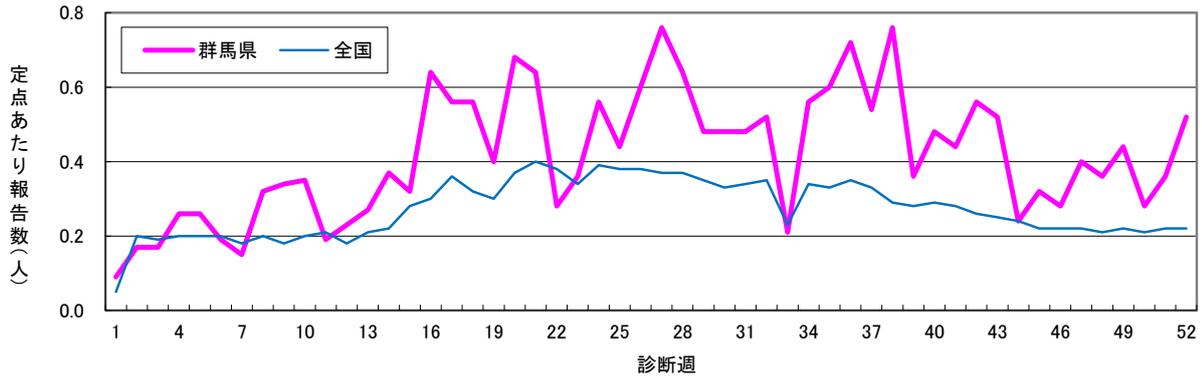
### (8) 突発性発しん

定点からの年間報告数は632人(定点あたり19.77人)でした。[前年955人(定点あたり18.12人)]

年齢群別では、1歳(57.0%)が最多で、1歳以下で全体の70%以上を占めました。

地域別の定点あたり報告数は、東毛地域(22.07人)が最多でした。

週別患者発生状況



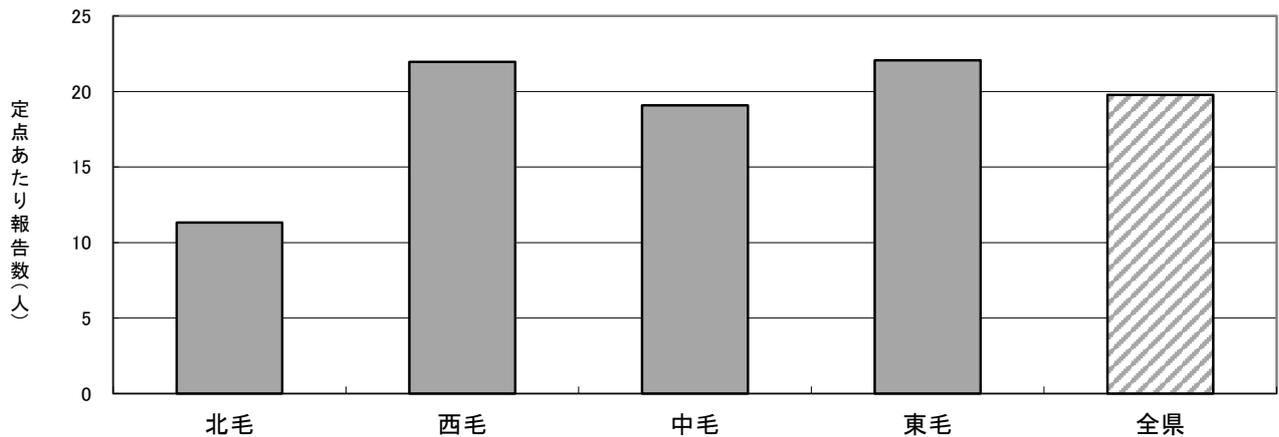
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	5	134	360	82	23	19	2	4	1	-	1
%	0.8	21.2	57.0	13.0	3.6	3.0	0.3	0.6	0.2	-	0.2

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	1	-	-	632
%	0.2	-	-	100.0

地域別患者発生状況



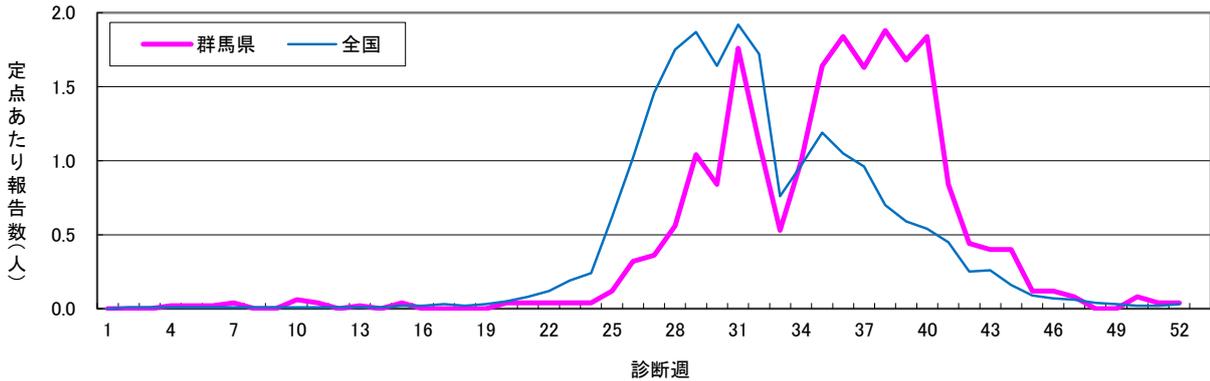
地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	49	214	164	205	632
定点あたり	11.32	21.95	19.08	22.07	19.77

### (9)ヘルパンギーナ

定点からの年間報告数は530人(定点あたり16.58人)でした。[前年1,873人(定点あたり35.55人)]  
 年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しましたが、流行のピークは全国よりも遅れました。  
 年齢群別では、1歳(34.2%)が最多で、次いで2歳(24.0%)、3歳(9.1%)でした。  
 地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(21.29人)が最多でした。

週別患者発生状況



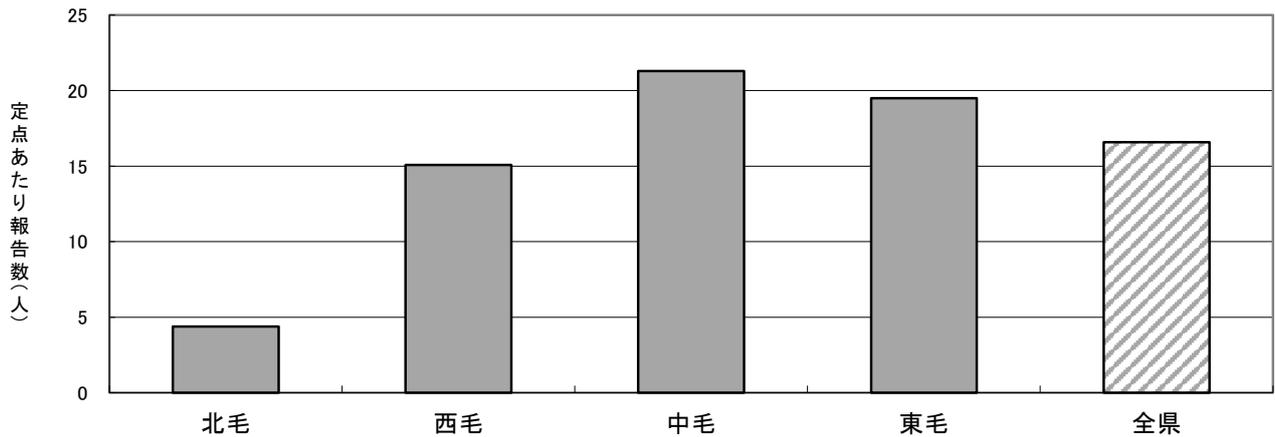
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	4	44	181	127	48	44	36	15	6	7	6
%	0.8	8.3	34.2	24.0	9.1	8.3	6.8	2.8	1.1	1.3	1.1

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	7	2	3	530
%	1.3	0.4	0.6	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

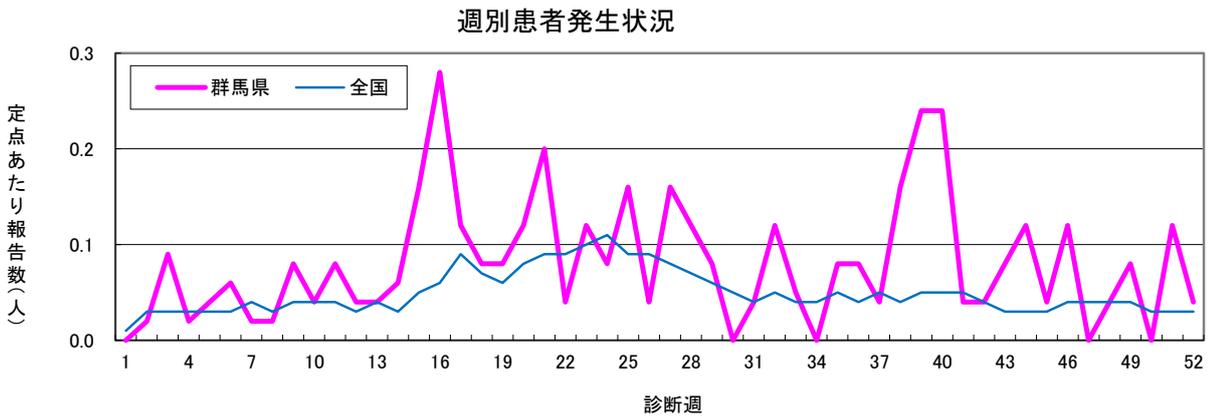
	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	19	147	183	181	530
定点あたり	4.39	15.08	21.29	19.49	16.58

### (10) 流行性耳下腺炎

定点からの年間報告数は121人(定点あたり3.79人)でした。[前年136人(定点あたり2.58人)]

年齢群別では、5歳及び6歳(各16.5%)が最多で、次いで4歳(14.9%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(6.63人)が最多でした。



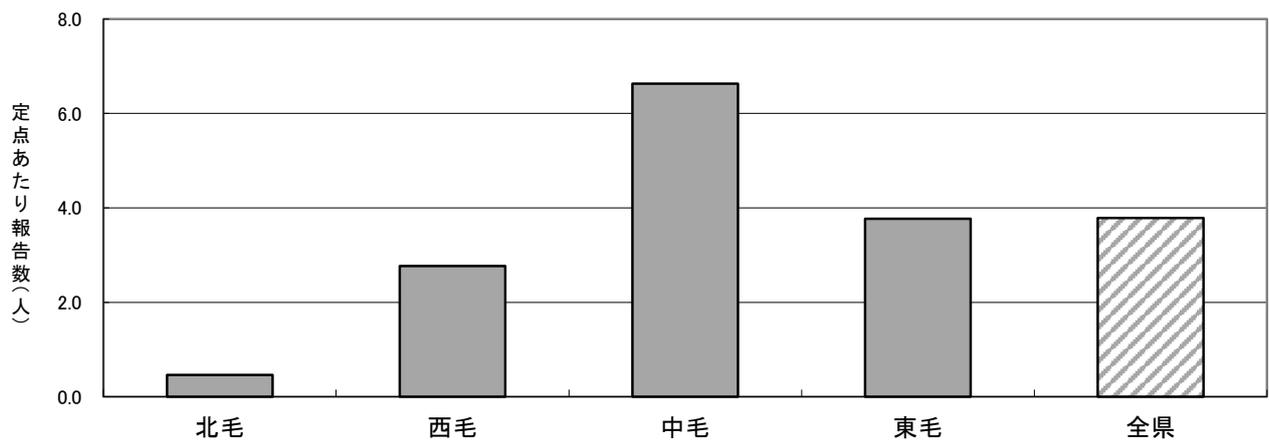
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	-	-	1	5	10	18	20	20	17	7	8
%	-	-	0.8	4.1	8.3	14.9	16.5	16.5	14.0	5.8	6.6

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	12	1	2	121
%	9.9	0.8	1.7	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	2	27	57	35	121
定点あたり	0.46	2.77	6.63	3.77	3.79

◆週報 眼科

(1) 急性出血性結膜炎

定点からの年間報告数は2人(定点あたり0.14人)でした。[前年5人(定点あたり0.36人)]

年齢群別では、2歳、60-69歳で各1人の報告がありました。

地域別では、西毛地域、東毛地域から各1人の報告がありました。

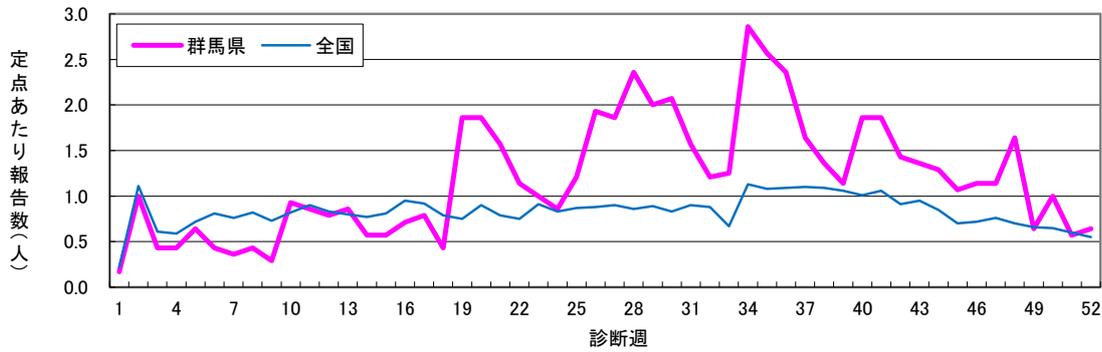
(2) 流行性角結膜炎

定点からの年間報告数は864人(定点あたり62.57人)でした。[前年307人(定点あたり21.96人)]

年齢群別では、30-39歳(20.9%)が最多で、次いで40-49歳(14.1%)、20-29歳(8.3%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(140.53人)が最多でした。

週別患者発生状況



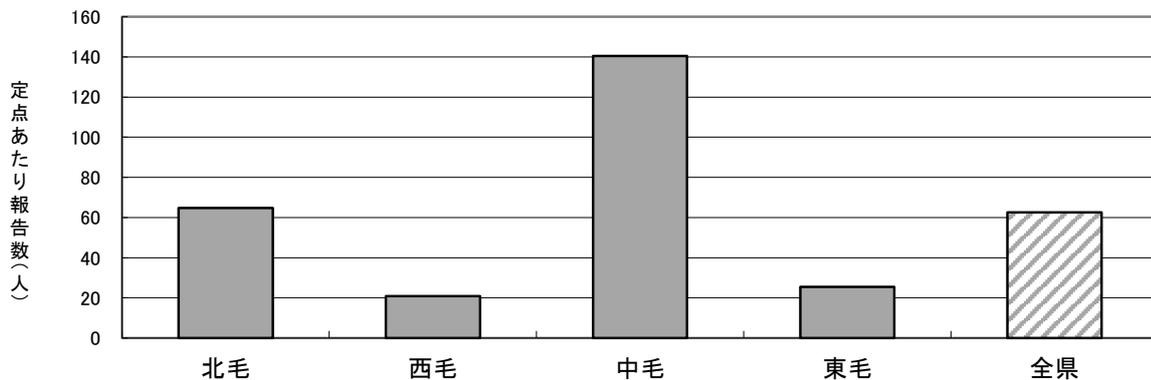
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	5	4	35	45	31	32	38	26	18	22	16
%	0.6	0.5	4.1	5.2	3.6	3.7	4.4	3.0	2.1	2.5	1.9

年齢群	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳～	合計
報告数	48	23	72	181	122	58	48	40	864
%	5.6	2.7	8.3	20.9	14.1	6.7	5.6	4.6	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	127	83	554	100	864
定点あたり	64.75	20.85	140.53	25.49	62.57

◆週報 基幹

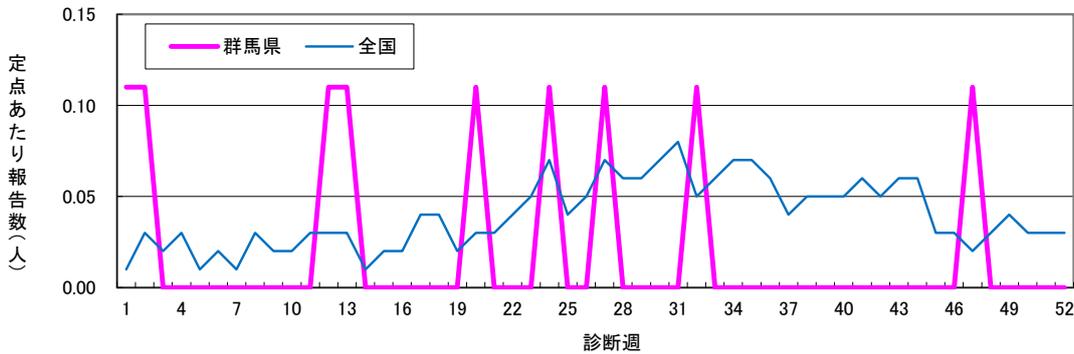
(1)細菌性髄膜炎

定点からの年間報告数は4人(定点あたり0.44人)でした。[前年8人(定点あたり0.89人)]  
 年齢群別では、0歳、10～14歳、50～54歳及び65～69歳(各1人)の報告がありました。  
 地域別では、中毛地域及び東毛地域(各2人)から報告がありました。

(2)無菌性髄膜炎

定点からの年間報告数は9人(定点あたり1.00人)でした。[前年5人(定点あたり0.56人)]  
 年齢群別では、0歳及び70歳以上(各2人)、5-9歳、20-24歳、25-29歳、55-59歳、65-69歳(各1人)の報告がありました。  
 地域別では、東毛地域(9人)から報告がありました。

週別患者発生状況



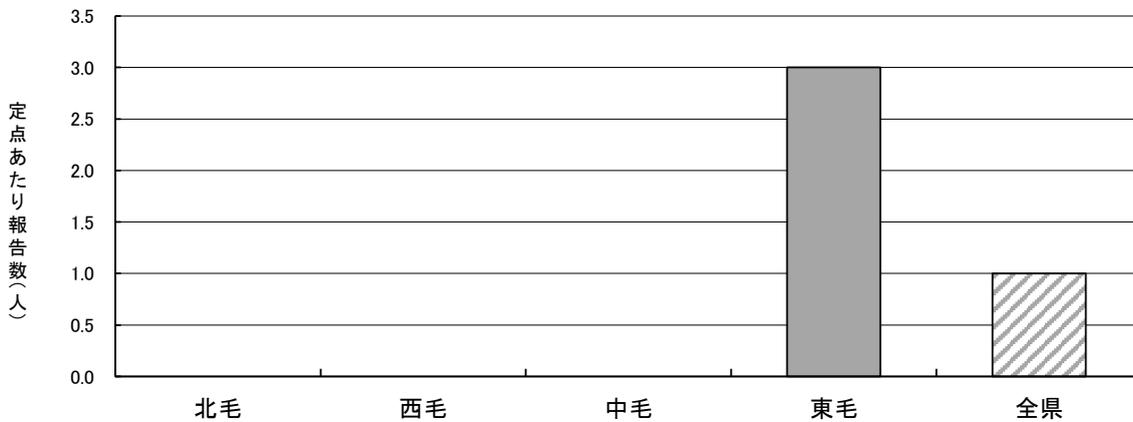
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	2	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-
%	22.2	-	11.1	-	-	11.1	11.1	-	-	-	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
報告数	-	1	-	1	2	9
%	-	11.1	-	11.1	22.2	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	-	-	-	9	9
定点あたり	-	-	-	3.00	1.00

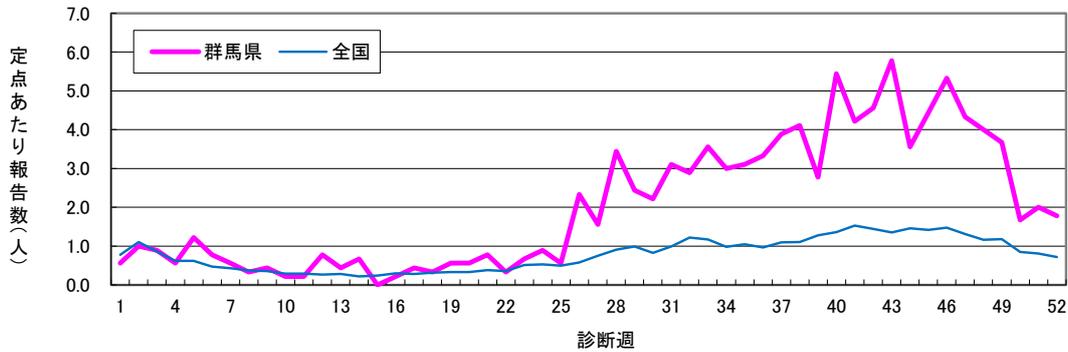
### (3) マイコプラズマ肺炎

定点からの年間報告数は959人(定点あたり106.56人)でした。[前年290人(定点あたり32.22人)でした]

年齢群別では、5-9歳(36.6%)が最も多く、次いで10-14歳(33.8%)、1-4歳(12.9%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(252.00人)が最多でした。

週別患者発生状況



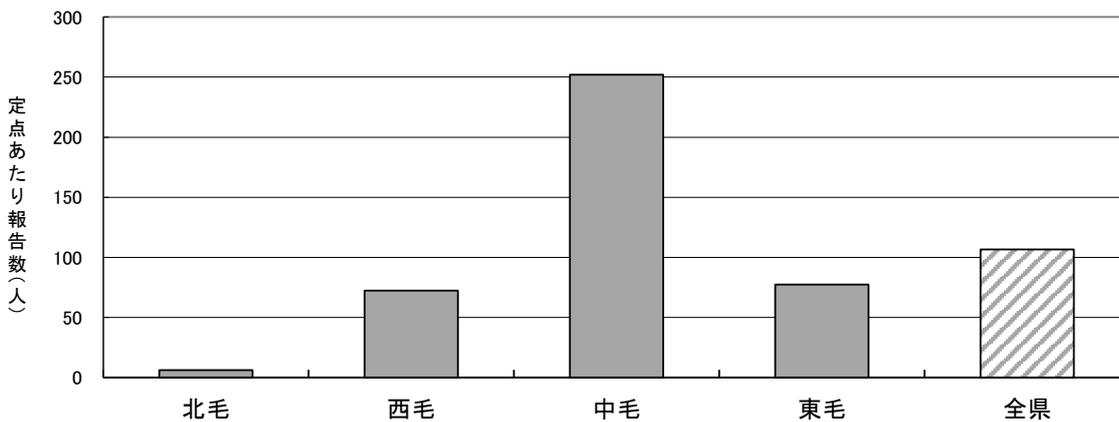
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	4	124	351	324	73	10	14	14	19	7	9
%	0.4	12.9	36.6	33.8	7.6	1.0	1.5	1.5	2.0	0.7	0.9

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
報告数	3	2	-	1	4	959
%	0.3	0.2	-	0.1	0.4	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	6	217	504	232	959
定点あたり	6.00	72.33	252.00	77.33	106.56

### (4) クラミジア肺炎(オウム病を除く)

定点からの年間報告数は3人(定点あたり0.33人)でした。[前年0人]

年齢群別では、5-9歳(2人)、30-34歳(1人)の報告がありました。

地域別では、東毛地域(2人)、西毛地域(1人)から報告がありました。

**(5) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)**

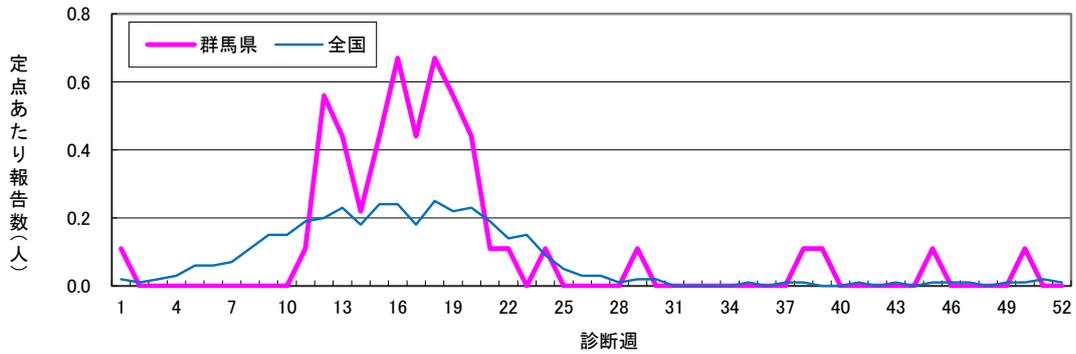
定点からの年間報告数は50人(定点あたり5.56人)でした。[前年9人(定点あたり1.00人)]

年齢群別では、5-9歳(23人)が最多で、次いで1-4歳(18人)でした。

地域別では、中毛地域(19人)が最多で、次いで東毛地域(17人)から報告がありました。

週別患者発生状況

週別患者発生状況



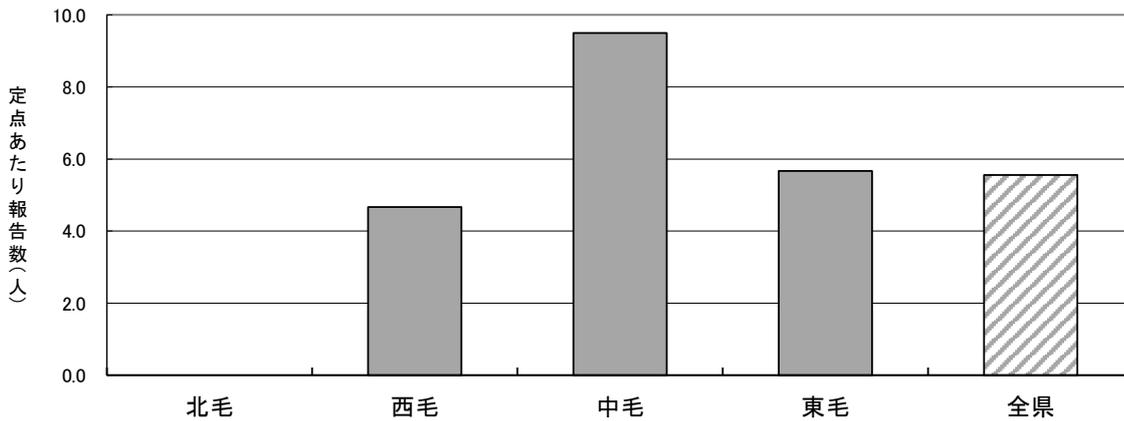
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	4	18	23	5	-	-	-	-	-	-	-
%	8.0	36.0	46.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳~	合計
報告数	-	-	-	-	-	50
%	-	-	-	-	-	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	-	14	19	17	50
定点あたり	-	4.67	9.50	5.67	5.56

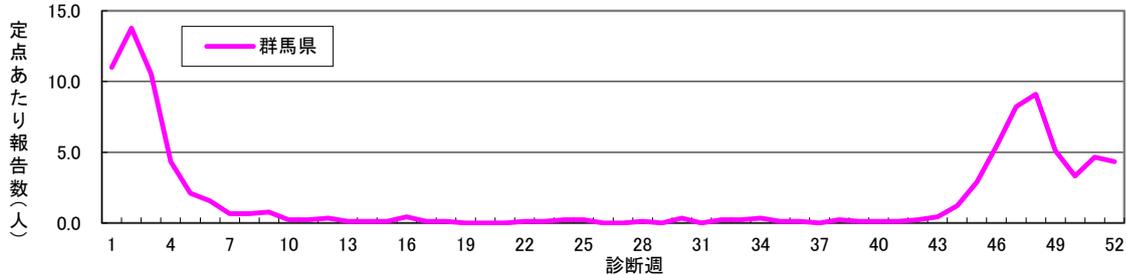
## (6) インフルエンザ(入院サーベイランス)

定点からの年間報告数は854人(定点あたり94.89人)でした。[前年419人(定点あたり46.56人)]

年齢群別では、80歳以上(30.1%)が最多で、次いで1-4歳(13.2%)、75-79歳(11.1%)でした。

地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(131.50人)が最多でした。

週別患者発生状況



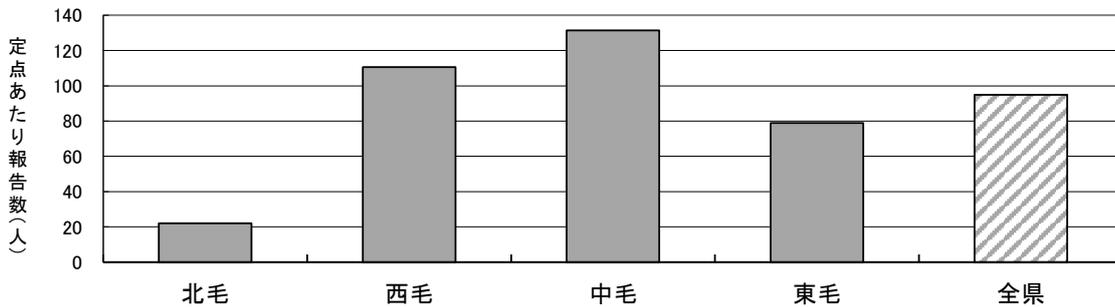
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	49	113	80	37	9	6	3	8	8	5	12
%	5.7	13.2	9.4	4.3	1.1	0.7	0.4	0.9	0.9	0.6	1.4

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳～	合計
報告数	11	23	36	39	63	95	257	854
%	1.3	2.7	4.2	4.6	7.4	11.1	30.1	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	22	332	263	237	854
定点あたり	22.00	110.67	131.50	79.00	94.89

入院時の状況と年齢別内訳(一部、重複あり)

(報告数:人)

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
ICU入室	-	1	-	-	-	1	-	-	5	3	3	5	18
呼吸器※1	-	1	2	-	-	1	-	-	2	8	6	7	27
CT、MRI、脳波※2	2	23	17	4	3	-	-	2	6	14	24	37	132
該当なし	48	94	67	33	7	8	16	15	25	57	134	218	722
合計	50	119	86	37	10	10	16	17	38	82	167	267	899

※1 人工呼吸器の利用、 ※2 頭部CT検査、頭部MRI検査、脳波検査のいずれかの実施

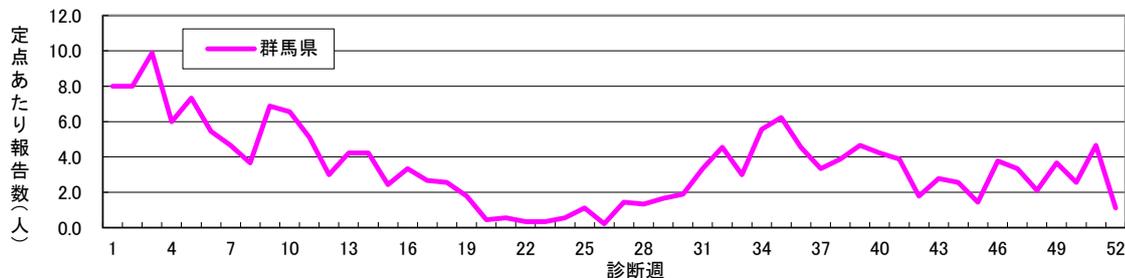
## (7) 新型コロナウイルス感染症(入院サーベイランス)

定点からの年間報告数は1,644人(定点あたり182.67人)でした。[前年2,653人(定点あたり294.78人)]

年齢群別では、80歳以上(49.8%)が最多で、60歳以上が全体の80%以上を占めました。

地域別の定点あたり報告数は、中毛地域(209.50人)が最多でした。

週別患者発生状況



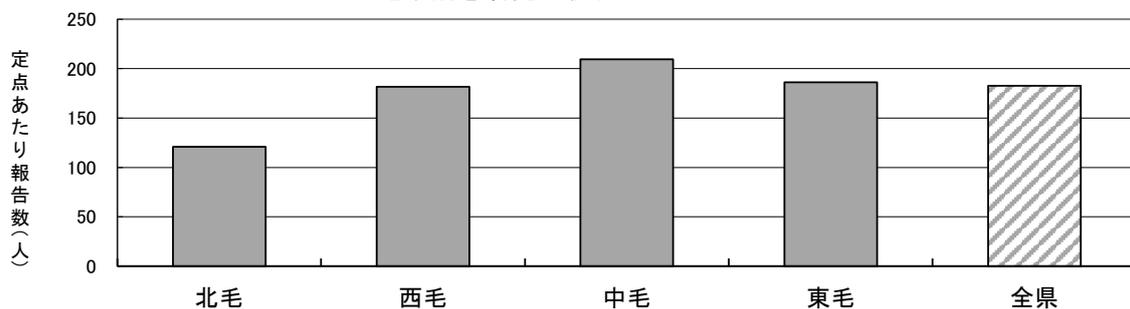
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	70	31	14	14	10	11	13	14	14	9	15
%	4.3	1.9	0.9	0.9	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	0.5	0.9

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳～	合計
報告数	34	48	58	82	140	249	818	1,644
%	2.1	2.9	3.5	5.0	8.5	15.1	49.8	100.0

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況(報告数:人)

	北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	121	545	419	559	1,644
定点あたり	121.00	181.67	209.50	186.33	182.67

入院時の状況と年齢別内訳(一部、重複あり)

(報告数:人)

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
ICU入室	-	-	-	-	-	1	1	2	3	5	10	8	30
呼吸器※1	-	-	-	-	-	3	1	1	5	6	16	19	51
該当なし	70	31	14	14	10	21	26	22	77	133	369	795	1,582
合計	70	31	14	14	10	25	28	25	85	144	395	822	1,663

※1 人工呼吸器の利用

◆月報 性感染症

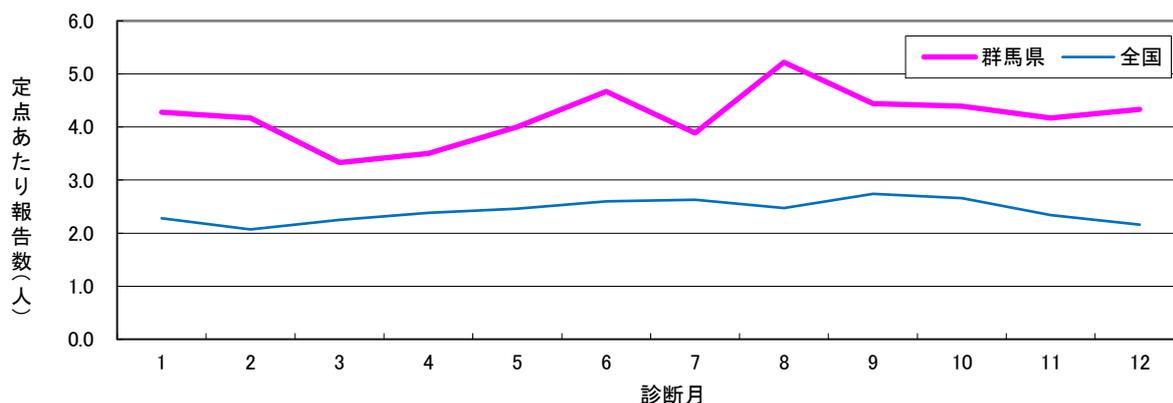
(1)性器クラミジア感染症

定点からの年間報告数は907人(定点あたり50.39人)でした。[前年883人(定点あたり49.06人)]

年齢群別では、20歳代(50.5%)が最多で、次いで30歳代(22.7%)で報告がありました。

地域別の定点あたり報告数は、中毛(89.40人)が最多で、次いで東毛(53.83人)でした。

月別患者発生状況



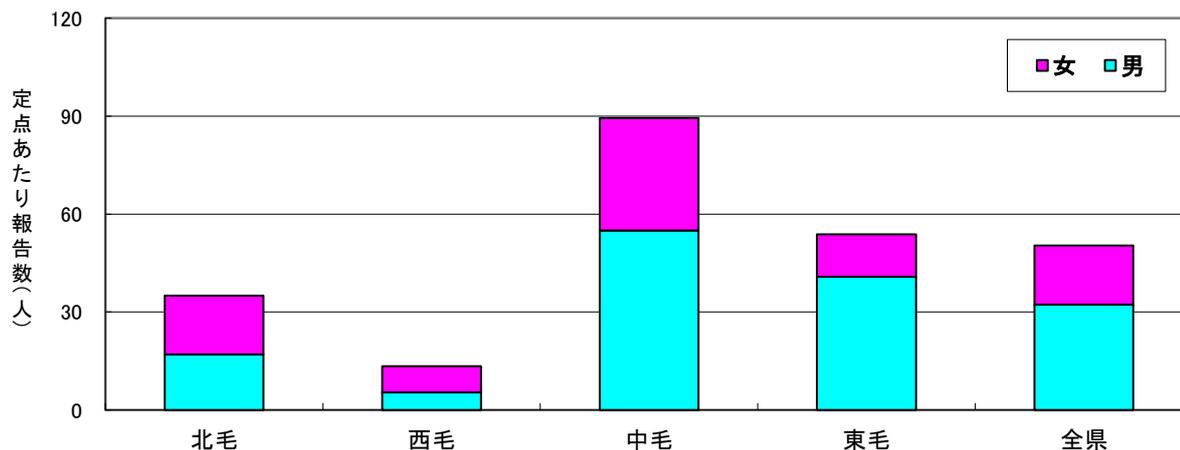
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	-	-	-	23	135	123	89	54	54	47
女	-	-	-	-	35	125	75	44	19	14	8

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	23	22	5	3	3	581
女	5	1	-	-	-	326

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況

(報告数:人)

		北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	男	34	27	275	245	581
	女	36	40	172	78	326
	計	70	67	447	323	907
定点あたり	男	17.00	5.40	55.00	40.83	32.28
	女	18.00	8.00	34.40	13.00	18.11
	計	35.00	13.40	89.40	53.83	50.39

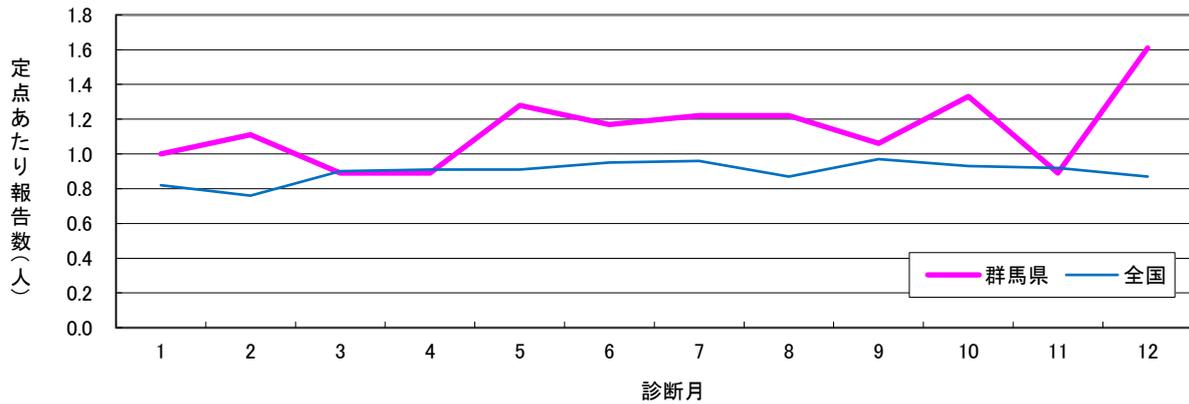
## (2) 性器ヘルペスウイルス感染症

定点からの年間報告数は246人(定点あたり13.67人)でした。[前年260人(定点あたり14.44人)]

年齢群別では、40歳代(24.0%)が最多で、次いで20歳代(22.8%)で報告がありました。

地域別の定点あたり報告数は、北毛(23.50人)が最多で、次いで東毛(22.50人)でした。

月別患者発生状況



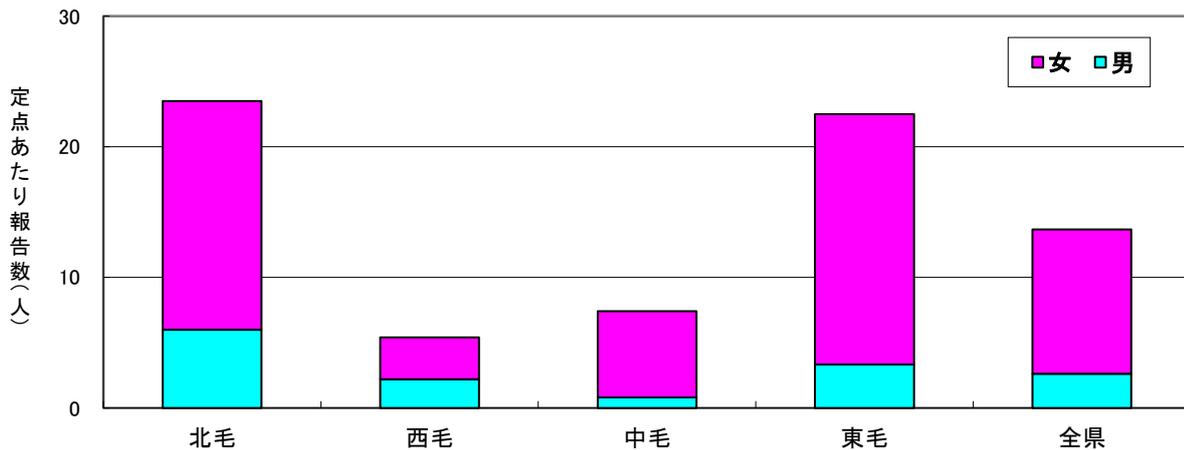
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	-	-	-	1	8	6	6	2	6	6
女	-	-	-	-	6	23	19	25	19	32	15

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	4	4	2	1	1	47
女	27	5	8	7	13	199

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況

(報告数:人)

		北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	男	12	11	4	20	47
	女	35	16	33	115	199
	計	47	27	37	135	246
定点あたり	男	6.00	2.20	0.80	3.33	2.61
	女	17.50	3.20	6.60	19.17	11.06
	計	23.50	5.40	7.40	22.50	13.67

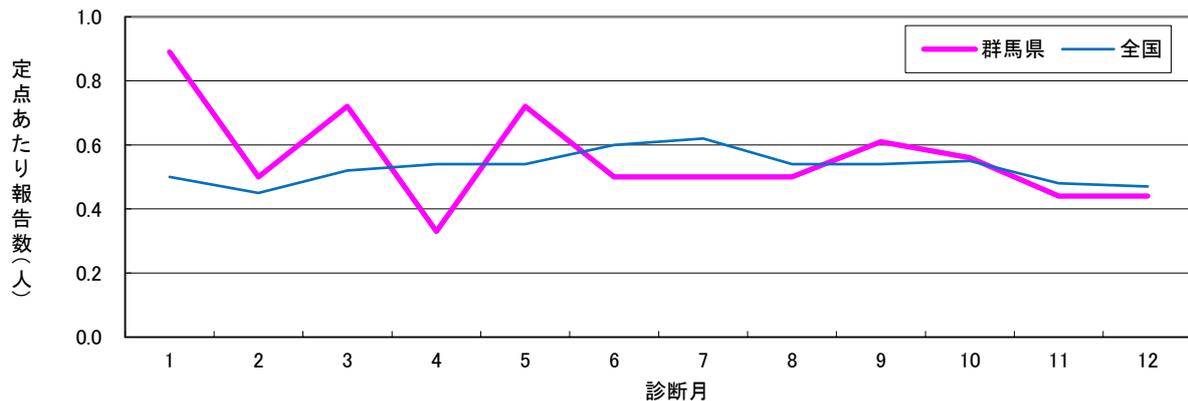
### (3) 尖圭コンジローマ

定点からの年間報告数は121人(定点あたり6.72人)でした。[前年152人(定点あたり8.44人)]

年齢群別では、20歳代(33.1%)が最多で、次いで30歳代(31.4%)で報告がありました。

地域別の定点あたり報告数は、中毛(10.20人)が最多で、次いで北毛(7.00人)でした。

月別患者発生状況



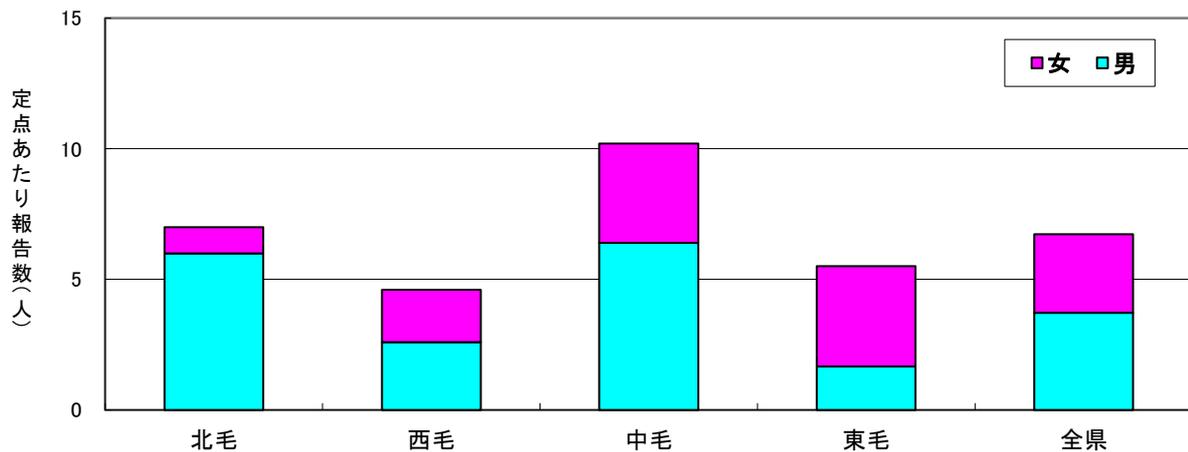
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	-	-	-	2	7	9	12	11	12	5
女	-	-	-	-	4	16	8	11	4	3	2

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	1	4	-	-	4	67
女	2	3	1	-	-	54

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況

(報告数:人)

		北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	男	12	13	32	10	67
	女	2	10	19	23	54
	計	14	23	51	33	121
定点あたり	男	6.00	2.60	6.40	1.67	3.72
	女	1.00	2.00	3.80	3.83	3.00
	計	7.00	4.60	10.20	5.50	6.72

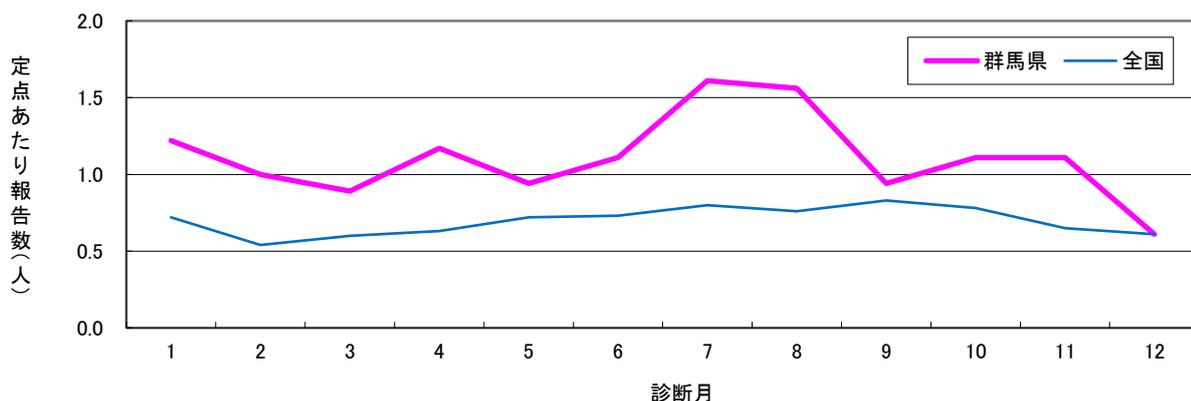
#### (4) 淋菌感染症

定点からの年間報告数は239人(定点あたり13.28人)でした。[前年202人(定点あたり11.22人)]

年齢群別では、20歳代(49.4%)が最多で、次いで30歳代(20.5%)で報告がありました。

地域別の定点あたり報告数は、東毛(19.83人)が最多で、次いで中毛(16.20人)でした。

月別患者発生状況



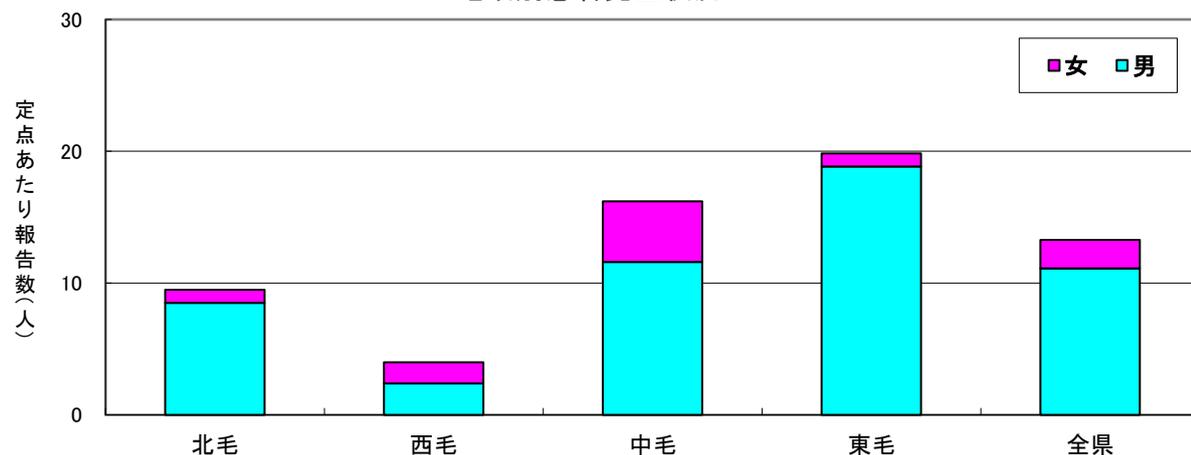
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	-	-	-	12	63	30	26	22	14	15
女	-	-	-	-	9	21	4	1	-	3	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	13	4	-	1	-	200
女	1	-	-	-	-	39

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況

(報告数:人)

		北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	男	17	12	58	113	200
	女	2	8	23	6	39
	計	19	20	81	119	239
定点あたり	男	8.50	2.40	11.60	18.83	11.11
	女	1.00	1.60	4.60	1.00	2.17
	計	9.50	4.00	16.20	19.83	13.28

◆月報 基幹

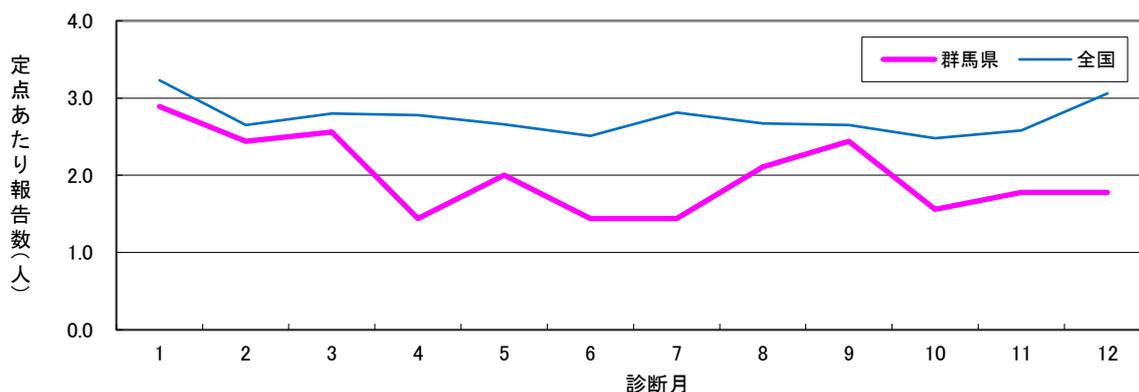
(1)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

定点からの年間報告数は215人(定点あたり23.89人)でした。[前年176人(定点あたり19.56人)]

年齢群別では、70歳以上(68.8%)で最も多くの報告がありました。

地域別の定点あたり報告数は、中毛(27.50人)が最多で、次いで東毛(25.00人)でした。

月別患者発生状況



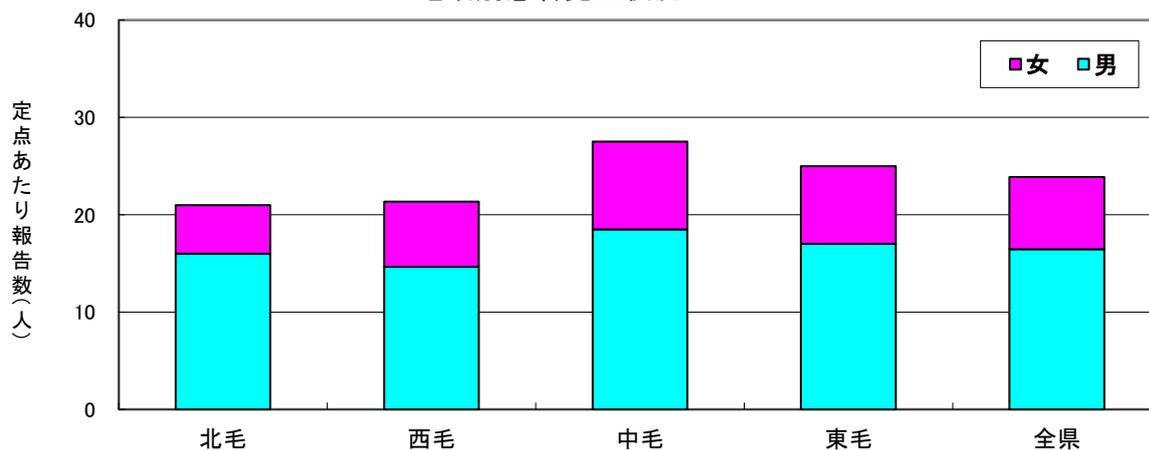
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	4	1	-	-	-	1	2	1	1	4
女	1	2	1	-	-	1	-	-	-	1	2

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	5	3	11	14	101	148
女	-	3	1	8	47	67

地域別患者発生状況



地域別患者発生状況

(報告数:人)

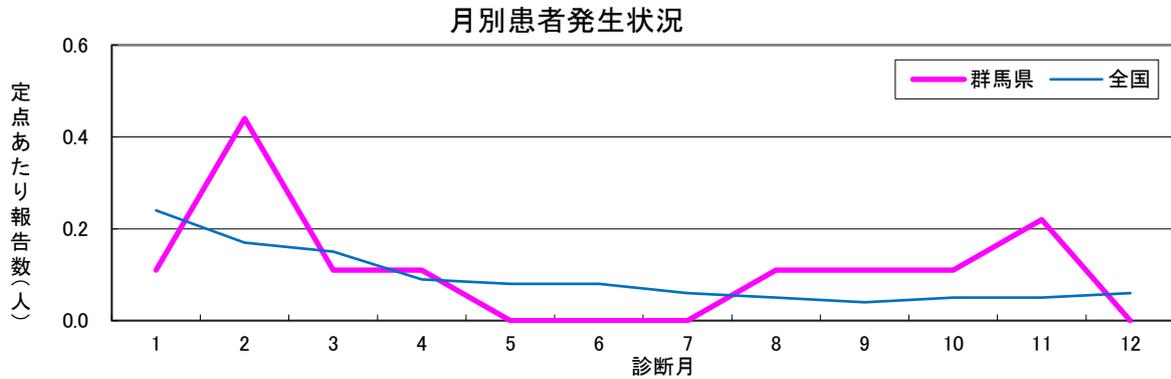
		北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	男	16	44	37	51	148
	女	5	20	18	24	67
	計	21	64	55	75	215
定点あたり	男	16.00	14.67	18.50	17.00	16.44
	女	5.00	6.67	9.00	8.00	7.44
	計	21.00	21.33	27.50	25.00	23.89

## (2) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点からの年間報告数は12人(定点あたり1.33人)でした。[前年31人(定点あたり3.44人)]

年齢群別では、70歳以上(75.0%)で最も多くの報告がありました。

地域別の定点あたり報告数は、中毛(2.50人)が最多で、次いで東毛(2.00人)でした。



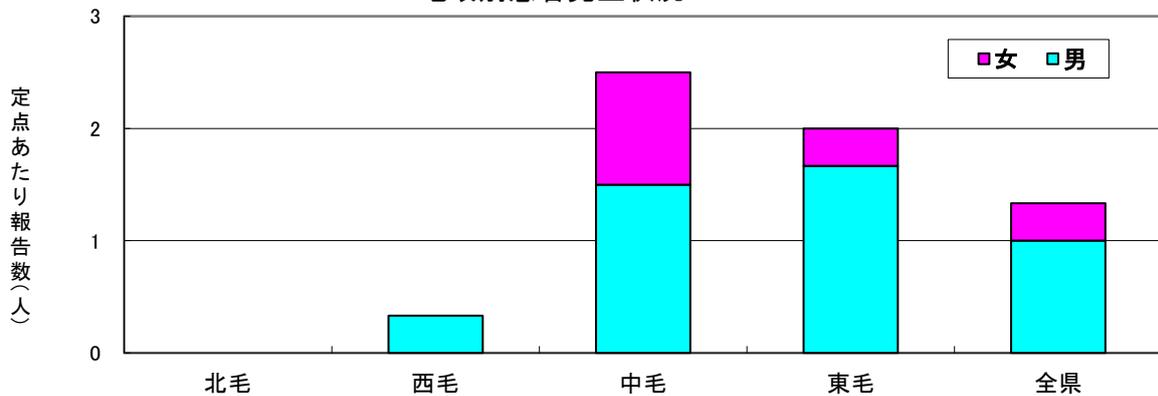
### 年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	-	-	-	-	6	9
女	-	-	-	-	3	3

### 地域別患者発生状況



### 地域別患者発生状況

(報告数:人)

		北毛	西毛	中毛	東毛	全県
報告数	男	-	1	3	5	9
	女	-	-	2	1	3
	計	-	1	5	6	12
定点あたり	男	-	0.33	1.50	1.67	1.00
	女	-	-	1.00	0.33	0.33
	計	-	0.33	2.50	2.00	1.33

## (3) 薬剤耐性緑膿菌感染症

定点からの年間報告数は1人(定点あたり0.11人)でした(65-69歳・男・東毛地域)。[前年0人]

## 4 疑似症サーベイランス

感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(平成31年(2019年)4月1日から 一部改正)

### (1) 疑似症定点の選定基準

- ア 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料(1～4)、小児特定集中治療室管理料及びハイケアユニット入院医療管理料(1～2)の届出をしている医療機関
- イ 感染症法に基づく感染症指定医療機関
  - ・感染症法に基づく第一種感染症指定医療機関
  - ・感染症法に基づく第二種感染症指定医療機関
- ウ マスギャザリング(一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団)において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関(例:大規模なスポーツ競技大会等において、観客や大会運営関係者等が受診する可能性のある医療機関)

### (2) 届出基準

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

### (3) 群馬県の報告

1例(20代・男性)

## 5 病原体検査情報

### (1) 一類～四類感染症、五類感染症全数把握疾患の病原体検査

#### ◆ 二類感染症の検体

##### ・ 結核：2025年 103検体、2024年 112検体

反復配列多型(VNTR)解析を実施し、結核菌の遺伝系統群の推定を行いました。

2024年の遺伝系統群推定の内訳は、非北京型が39件、北京型Modernが23件、北京型STKが17件、北京型ST25/19が14件、北京型ST3が14件、北京型ST11/26が4件、解析不能が1件でした。

2025年の検体については、引き続き検査を行っています。

#### ◆ 三類感染症の検体

##### ・ 細菌性赤痢：2検体(2事例)

1検体(1事例)から *Shigella sonnei*、1検体(1事例)から *Shigella flexneri* が検出されました。

##### ・ 腸管出血性大腸菌感染症：

検出状況については、50ページを参照。

#### ◆ 四類感染症の検体

##### ・ A型肝炎：1検体(1事例)

検出されませんでした。

##### ・ 重症熱性血小板減少症(SFTS)(疑い)：1検体(1事例)

検出されませんでした。

##### ・ チクングニア熱：1検体(1事例)

チクングニアウイルスが検出されました。

##### ・ デング熱：1検体(1事例)

検出されませんでした。

#### ◆ 五類感染症全数把握疾患の検体

##### ・ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症：10検体(10事例)

1検体(1事例)から分離された *Klebsiella pneumoniae* において、NDM型カルバペネマーゼ遺伝子が検出されました。

##### ・ 急性脳炎：11検体(5事例)

1検体(1事例)からヒトヘルペスウイルス7型が検出されました。

##### ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症：20検体(20事例)

9検体(9事例)から *Streptococcus pyogenes*、6検体(6事例)から *Streptococcus agalactiae*、5検体(5事例)から *Streptococcus dysgalactiae* が検出されました。

*Streptococcus pyogenes* のT型別の内訳は、TUTが4検体、T1が4検体、TB3264が1検体でした。

##### ・ 侵襲性髄膜炎菌感染症：1検体(1事例)

*Neisseria meningitidis* が検出されました。

##### ・ バンコマイシン耐性腸球菌感染症：1検体(1事例)

*Enterococcus faecium* が検出されました。

##### ・ 麻しん・風しん(疑い)：112検体(43事例)

11検体(5事例)から麻しんウイルスが検出されました。

## (2) 五類感染症定点把握疾患(病原体定点)の病原体検査

病原体定点から提出された検体について、病原体の同定検査を実施しました。  
11疾患1031検体が提出され、561検体から病原体が検出されました。検出率は54.4%でした。

### ◆ インフルエンザ／COVID-19定点から提出された検体

#### ・ インフルエンザ：38検体（1月1日～4月6日）

16検体からインフルエンザウイルスAH1pdm09、3検体からインフルエンザウイルスAH3、5検体からインフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)、1検体からインフルエンザウイルスB(系統不明)が検出されました。

### ◆ 急性呼吸器感染症(内科/小児科)定点から提出された検体

#### ・ 急性呼吸器感染症：898検体（4月7日～12月31日）

検出状況については次ページの表を参照。

### ◆ 小児科定点から提出された検体

#### ・ RSウイルス感染症：15検体

14検体からRSウイルスが検出されました。

#### ・ 咽頭結膜熱：7検体

3検体からアデノウイルス2型、各1検体からアデノウイルス1型、アデノウイルス3型、アデノウイルス108型が検出されました。

#### ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：24検体

各1検体から *Streptococcus pyogenes* T4型、*Streptococcus pyogenes* TB3264型、*Streptococcus pyogenes* TUT型が検出されました。

#### ・ 感染性胃腸炎：19検体 ※基幹定点においてロタウイルス胃腸炎と診断された場合を含みます。

4検体からA群ロタウイルス、各1検体からノロウイルスGⅡ、アデノウイルス1型、アデノウイルス2型、アデノウイルス41型、サポウイルス、アストロウイルスが検出されました。

#### ・ 手足口病：1検体

ライノウイルスが検出されました。

#### ・ 伝染性紅斑：10検体

1検体からヒトパルボウイルスB19が検出されました。

#### ・ 突発性発しん：2検体

ヒトヘルペスウイルス6、7型は検出されませんでした。

#### ・ ヘルパンギーナ：4検体

各1検体からコクサッキーウイルスA群4型、コクサッキーウイルスA群8型、ライノウイルス/エンテロウイルスが検出されました。

### ◆ 眼科定点から提出された検体

#### ・ 流行性角結膜炎：13検体

4検体からアデノウイルス54型、1検体からアデノウイルス37型が検出されました。

五類感染症定点把握疾患(病原体定点)の病原体検査  
月別受付件数及び検出状況(2025年1月～12月)

令和8年(2026年)2月10日集計

臨床診断名	検体受付月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
インフルエンザ (インフルエンザ様疾患を含む)	件数(人)	21	10	6	1									38	
	インフルエンザウイルスAH1pdm09	11	3	2										16	
	インフルエンザウイルスAH3		2	1										3	
	インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	3	1	1										5	
	インフルエンザウイルスB(系統不明)				1									1	
	検出されず	7	4	2										13	
急性呼吸器感染症 (ARI)	件数(人)				73	105	94	110	85	99	115	107	110	898	
	インフルエンザウイルスAH1pdm09								1		2			3	
	インフルエンザウイルスAH3										1	28	32	61	
	インフルエンザウイルスAH3、ヒトメタニューモウイルス												1	1	
	インフルエンザウイルスAH3、ライノウイルス					1						1	3	5	
	インフルエンザウイルスAH3、ライノウイルス/エンテロウイルス											3	1	4	
	パラインフルエンザウイルス1型													1	1
	新型コロナウイルス				12	6	8	16	23	30	17	13	9	134	
	新型コロナウイルス、ライノウイルス					1	1			1				3	
	新型コロナウイルス、ライノウイルス/エンテロウイルス												1	1	
	新型コロナウイルス、RSウイルス									1				1	
	RSウイルス				4	1		3	5	1	14	2	2	32	
	RSウイルス、ライノウイルス				1	1		1			1			4	
	RSウイルス、ライノウイルス/エンテロウイルス									1	1			2	
	ヒトメタニューモウイルス				2		2	1						4	9
	ヒトメタニューモウイルス、ライノウイルス						3								3
	ヒトメタニューモウイルス、ライノウイルス/エンテロウイルス													1	1
	ライノウイルス				26	41	8	23	11	14	20	12	12	167	
	ライノウイルス/エンテロウイルス						6	7	2	7	9	7	5	43	
	コクサッキーウイルスA群4型									1	1			2	
	エコーウイルス3型													1	1
	エコーウイルス9型										2			2	
	エコーウイルス18型											1		1	
アデノウイルス2型									1				1		
アデノウイルス1型													1	1	
アデノウイルス2型、ライノウイルス								1					1		
アデノウイルス5型							1						1		
<i>Streptococcus pyogenes</i> TU4(A群)					1									1	
	検出されず				27	54	65	58	41	41	49	40	37	412	
RSウイルス感染症	件数(人)	0	1	0	0	0	1	1	2	2	2	2	4	15	
	RSウイルス		1					1	1	2	2		3	10	
	RSウイルス、ライノウイルス						1							1	
	RSウイルス、ライノ/エンテロウイルス								1			1	1	3	
	ライノ/エンテロウイルス											1		1	
	検出されず													0	
咽頭結膜熱	件数(人)	1	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	7	
	アデノウイルス1型	1												1	
	アデノウイルス2型		1					1						2	
	アデノウイルス2型、ライノウイルス										1			1	
	アデノウイルス3型		1											1	
	アデノウイルス108型、ライノウイルス/エンテロウイルス												1	1	
ライノウイルス									1				1		
	検出されず													0	
A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	件数(人)	1	0	1	3	0	3	3	2	3	4	1	3	24	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264				1									1	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4(A群)									1				1	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TUT(A群)										1			1	
	検出されず	1		1	2		3	3	2	2	3	1	3	21	

令和8年(2026年)2月10日集計

臨床診断名	検体受付月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
感染性胃腸炎(※)	件数(人)	3	3	2	0	4	1	4	2	0	0	0	0	19
	ロタウイルスA群(G3)					4								4
	アストロウイルス		1											1
	アデノウイルス1型							1						1
	アデノウイルス2型		1											1
	アデノウイルス41型			1										1
	ノロウイルスGII	1												1
	サボウイルス								1					1
	検出されず	2	1	1			1	2	2					9
手足口病	件数(人)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	ライノウイルス						1							1
	検出されず													0
伝染性紅斑	件数(人)	0	0	0	0	2	5	2	0	0	0	0	1	10
	ヒトパルボウイルスB19、サイトメガロウイルス												1	1
	ヒトメタニューモウイルス						1							1
	ヒトヘルペスウイルス7型						1	1						2
	ヒトヘルペスウイルス7型、ライノウイルス					1								1
	EBウイルス、ライノウイルス					1								1
検出されず						3	1						4	
突発性発しん	件数(人)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	検出されず						1						1	2
ヘルパンギーナ	件数(人)	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
	コクサッキーウイルスA群4型								1					1
	コクサッキーウイルスA群8型							1						1
	ライノウイルス/エンテロウイルス									1				1
	検出されず							1						1
流行性角結膜炎	件数(人)	1	0	0	0	0	4	0	1	2	0	1	4	13
	アデノウイルス37型	1												1
	アデノウイルス54型												4	4
	検出されず						4		1	2		1		8

### (3) その他の病原体検査

#### ◆ 国立健康危機管理研究機構による行政検査

- ・ つつが虫病(疑い) : 3検体(1事例)  
*Rickettsia japonica* (日本紅斑熱)が検出されました。
- ・ 日本紅斑熱(疑い) : 3検体(2事例)  
検出されませんでした。
- ・ ライム病(疑い) : 2検体(1事例)  
検出されませんでした。

#### ◆ 疑似症サーベイランス

- ・ 重症呼吸不全 : 1検体(1事例)  
ライノウイルスが検出されました。

#### ◆ 新型コロナウイルス感染症ゲノム解析

- ・ 新型コロナウイルス感染症ゲノム解析 : 267検体  
検出状況については、53ページを参照。

#### ◆ 集団発生事例の検査

- ・ 感染性胃腸炎 : 4検体(1事例)  
4検体からノロウイルスG II が検出されました。
- ・ 急性呼吸器感染症 : 5検体(1事例)  
5検体からRSウイルスが検出されました。
- ・ ウイルス感染症疑い : 4検体(1事例)  
1検体からライノウイルスが検出されました。

#### ◆ その他の検体

- ・ レジオネラ属菌(環境水) : 3検体(1事例)  
1検体から *Legionella pneumophila* (1群、10群)、1検体から *Legionella pneumophila* (1群)が検出されました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(保菌) : 2検体(1事例)  
1検体(1事例)から分離された細菌において、カルバペネマーゼ遺伝子(IMP-1型)が検出されました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症疑い : 2検体(2事例)  
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の「届出のために必要な検査所見」を示しませんでした。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症(陰性確認) : 34事例  
3事例においてベロ毒素遺伝子が検出されました。
- ・ インフルエンザ : 1検体(1事例)  
インフルエンザウイルスAH1pdm09が検出されました。
- ・ アデノウイルス感染症 : 1検体(1検体)  
アデノウイルス2型が検出されました。
- ・ ウイルス感染症疑い : 1検体(1事例)  
検出されませんでした。
- ・ 川崎病疑い : 3検体(1事例)  
1検体からライノウイルスが検出されました。